

内閣府平成28年度委託調査事業

就職・採用活動開始時期変更に係る  
学生の就職活動等調査

調査結果（速報版）

平成28年9月

株式会社浜銀総合研究所

この調査結果（速報版）は、現時点における議論に資するよう作成するものであり、今後、有識者を交えた分析・検討、データの更なる精査を経て、調査結果報告書を作成することとしている。



## <目次>

1. 調査の概要・回答者属性.....	1
(1) 調査の概要.....	1
(2) 回答者属性.....	2
(3) ウェイトによる補正.....	5
2. 就職活動時期変更に関する学生の認識.....	7
(1) 就職活動時期変更に関する認知の状況.....	7
(2) 就職活動時期変更の影響に関する認識.....	9
3. 就職活動内容.....	11
(1) 業界や企業に関する分析を開始した時期.....	11
(2) 企業説明会やセミナー等の参加時期.....	13
(3) エントリーシートの提出時期.....	16
(4) 採用面接の実施時期.....	19
(5) 内々定の状況・内々定の時期.....	23
(6) 就職活動の始まりと終わりの認識.....	26
(7) インターンシップの参加状況.....	32
4. 企業から学業などに対する配慮の状況等.....	36
(1) 就職活動と学修時間確保の状況.....	36
(2) 学業重視の選考.....	38
(3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮.....	39
(4) 遠隔地への就職活動への配慮.....	40
(5) クールビズでの対応.....	40
(6) 留学経験者への配慮.....	41
(7) 教育実習受講者への配慮.....	43
(8) ハラスメント的な行為の状況.....	45



## 1. 調査の概要・回答者属性

### (1) 調査の概要

#### ①調査の目的

就職・採用活動時期変更（広報活動 3 月 1 日以降開始、採用選考活動 6 月 1 日以降開始）に伴う平成 28 年度卒業予定者の就職・採用選考活動における意識・行動等の把握を通じ、来年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として、調査を実施した。

#### ②調査の実施方法

地域、設置主体、規模等を勘案して選定した全国の約 60 の大学に協力いただき、各大学において、大学 4 年生及び大学院修士課程（博士前期課程）2 年生<sup>1</sup>にアンケート調査への協力を依頼した。なお、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生については調査の対象外である旨を案内の上で実施した。

各学生においては、インターネット上に開設したアンケート調査のホームページにアクセスし、回答をしていただいた。ホームページは、平成 28 年 7 月 15 日から 8 月 13 日の間開設した。

#### ③回答状況

対象学年別の有効回答件数は次の図表 1-1 の通りである。なお、社会人経験があり元の職場に復帰予定の者や、進学等を予定しており就職活動をする予定がない者等については、集計の過程において、適宜集計の対象から除いて集計を行った。

図表 1-1 学年別の有効回答件数

対象	大学 4 年生	大学院 2 年生	合計
有効回答件数	9,242	3,337	12,579

※学年について「その他」と回答があった 484 件については有効回答の対象外とした。

<sup>1</sup> 以下、「大学院 2 年生」と表記する。

## (2) 回答者属性

回答者の基本属性に関して、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域は、対象学年別にそれぞれ以下の図表 1-2～図表 1-5 のようになっている。なお、母集団の状況に関して、それぞれ平成 28 年度の学校基本調査の情報（速報値）についても掲載した<sup>2</sup>。

これらから、全国の母集団の状況と比較すると、本調査に回答が得られた学生に関し、性別については大学 4 年生で「女性」からの回答割合が若干高くなっており、大学・大学院の設置主体について「国立」からの回答割合が高いなど、母集団の分布と比べて若干の偏りが生じている状況にあることが把握される。

図表 1-2 性別

本調査	大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	44.9%	72.5%
女性	55.1%	27.5%
集計度数	9,242	3,337

平成 28 年度学校基本調査 (速報値)	大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	57.0%	68.8%
女性	43.0%	31.2%
集計度数	666,833	83,165

図表 1-3 大学・大学院の設置主体

本調査	大学 4 年生	大学院 2 年生
国立	25.6%	72.5%
公立	2.6%	4.7%
私立	71.7%	22.8%
集計度数	9,242	3,337

平成 28 年度学校基本調査 (速報値)	大学 4 年生	大学院 2 年生
国立	18.3%	59.2%
公立	5.1%	6.6%
私立	76.6%	34.2%
集計度数	666,833	83,165

<sup>2</sup> 今回調査対象として医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生は対象外としていることから、学校基本調査の情報のうち「専攻」について、「保健」の学生数を除いた値を参照した。ただし、性別や設置主体別、地域別のデータについては、一部「保健」を専攻している学生を取り除いた値の算出が困難であったことから、「保健」の者も含めた値を参照している。（図表 1-4 は「保健」専攻の学生を除いた値、図表 1-2、図表 1-3、図表 1-5 は「保健」専攻の学生を含めた値）

図表 1-4 専攻

本調査	大学4年生	大学院2年生
人文科学	21.5%	4.6%
社会科学	43.4%	4.5%
理学	7.0%	28.7%
工学	11.7%	48.6%
農学	2.8%	7.3%
保健	2.2%	1.9%
商船	0.0%	0.0%
家政	1.5%	0.4%
教育	3.5%	1.1%
芸術	0.8%	0.4%
その他	5.5%	2.4%
文系	76.2%	13.4%
理系	23.8%	86.6%
集計度数	9,242	3,337

平成28年度学校基本調査 (速報値)	大学4年生	大学院2年生
人文科学	16.9%	7.9%
社会科学	37.5%	11.2%
理学	3.6%	9.1%
工学	17.5%	44.1%
農学	3.2%	5.7%
保健	—	—
商船	0.0%	0.0%
家政	3.0%	0.6%
教育	8.3%	6.9%
芸術	2.9%	2.8%
その他	7.1%	11.7%
文系	75.7%	41.1%
理系	24.3%	58.9%
集計度数	601,624	76,990

※「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている

図表 1-5 大学・大学院の所在地域

本調査	大学4年生	大学院2年生
北海道・東北	5.7%	12.2%
関東	34.3%	40.2%
中部	11.6%	16.5%
近畿	32.2%	17.0%
中国・四国	7.4%	8.1%
九州・沖縄	8.8%	6.1%
集計度数	9,242	3,337

平成28年度学校基本調査 (速報値)	学部学生	大学院学生
北海道・東北	7.3%	8.6%
関東	44.0%	42.2%
中部	12.7%	13.1%
近畿	21.0%	20.4%
中国・四国	6.6%	7.1%
九州・沖縄	8.4%	8.6%
集計度数	2,567,144	249,580

※「北海道・東北」は、北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県が該当する

※「関東」は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が該当する

※「中部」は、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県が該当する

※「近畿」は、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県が該当する

※「中国・四国」は、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県が該当する

※「九州・沖縄」は、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県が該当する



### (3) ウェイトによる補正

上記で確認した、本調査の回答者の基本属性と母集団における分布との関係をふまえ、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、それぞれのバランスが母集団に近似するようにウェイト付けを行った上で集計を行うこととした。

分類別のウェイト値は図表 1-6 に示したとおりである。また、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域のそれぞれについて、ウェイトによる補正後の分布は図表 1-7～図表 1-10 のようになっている<sup>3</sup>。

これらから、ウェイト補正後は、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、母集団における分布と近い構成比になっていることが確認できる<sup>4</sup>。ただし、専攻の内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の偏りが生じている状況にある。

図表 1-6 性別、大学・大学院の設置主体別、文系・理系別のウェイト値

本調査			大学4年生	大学院2年生
男性	国立	文系	0.7992	4.2612
		理系	0.9860	0.6322
	公立	文系	2.1432	3.8470
		理系	1.3566	0.9760
	私立	文系	1.4784	2.8908
		理系	1.4905	1.0655
女性	国立	文系	0.5133	2.0867
		理系	0.4491	0.3139
	公立	文系	1.9367	6.6817
		理系	0.9623	0.6796
	私立	文系	0.7960	3.2321
		理系	0.6820	1.1195

※ウェイト値について四捨五入の上小数点以下第4位まで掲載しているが、実際には小数点以下第15位までの値に基づいてウェイト付けを行っている。

図表 1-7 性別（ウェイトによる補正後）

本調査	大学4年生	大学院2年生
男性	59.0%	70.9%
女性	41.0%	29.1%
集計度数	9,242	3,337

<sup>3</sup> ウェイト補正後の集計値に関しては、四捨五入等している関係で、設問により、選択肢ごとの度数と度数合計が一致しない場合がある。また、集計結果の割合（%）は、小数点第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。

<sup>4</sup> 専攻の内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の相違があるが、細部まで補正を行うことが困難であったことから、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「文系・理系別」の3点について補正したデータにより集計を行った。なお、ウェイト付けの際には、専攻について「保健」の者を除いた形で値を算出した。このことにより、ウェイト補正後の「性別」「大学・大学院の設置主体別」の分布について、図表 1-2、図表 1-3 に掲載した構成比とは若干異なる値になっている。

図表 1-8 大学・大学院の設置主体（ウエイトによる補正後）

本調査	大学 4 年生	大学院 2 年生
国立	18.3%	59.4%
公立	4.6%	6.6%
私立	77.2%	34.0%
集計度数	9,242	3,337

図表 1-9 専攻（ウエイトによる補正後）

本調査	大学 4 年生	大学院 2 年生
人文科学	19.5%	13.4%
社会科学	46.3%	14.4%
理学	7.0%	19.1%
工学	13.1%	35.0%
農学	2.2%	3.8%
保健	2.0%	1.0%
商船	0.0%	0.0%
家政	1.3%	1.0%
教育	2.5%	3.0%
芸術	0.7%	1.2%
その他	5.4%	8.1%
文系	75.7%	41.1%
理系	24.3%	58.9%
集計度数	9,242	3,337

図表 1-10 大学・大学院の所在地域（ウエイトによる補正後）

本調査	大学 4 年生	大学院 2 年生
北海道・東北	5.0%	9.0%
関東	34.8%	40.4%
中部	11.5%	14.8%
近畿	34.9%	22.8%
中国・四国	5.8%	8.0%
九州・沖縄	8.0%	5.0%
集計度数	9,242	3,337

以降では、ウェイト補正後のデータに基づき、2. 就職活動時期変更に関する学生の認識、3. 就職活動内容、4. 企業から学業などに対する配慮の状況等について集計を行った。

なお、集計は基本的には大学4年生・大学院2年生を分けて行ったが、集計度数が比較的少なくなってしまう部分については合わせて集計した。また、主に就職活動の時期等に関する集計結果については、昨年度実施した「就職・採用活動時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査<sup>5)</sup>」との比較を行い、回答傾向の違いについて把握した。

## 2. 就職活動時期変更に関する学生の認識

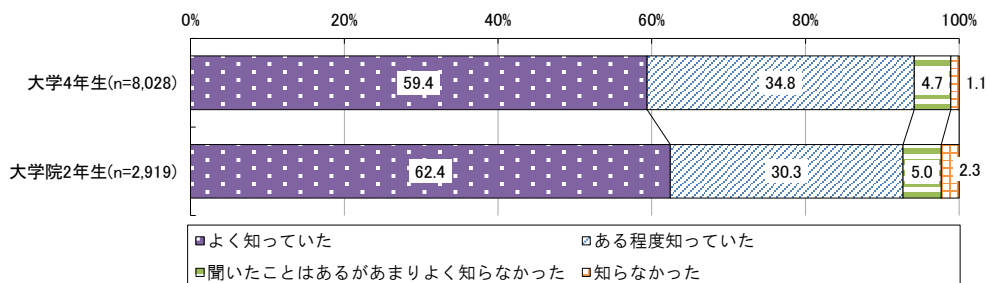
### (1) 就職活動時期変更に関する認知の状況

#### ① 就職活動時期変更に関する認知度

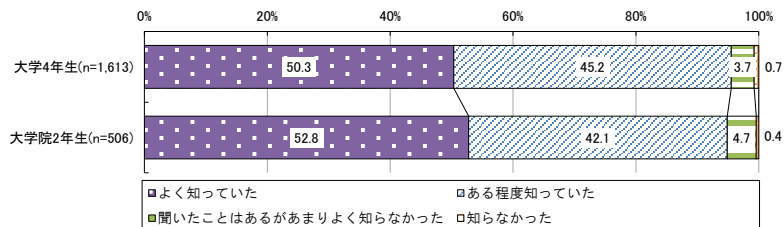
就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期が昨年度の日程から変更になっていることについて知っていたかをたずねたところ<sup>6)</sup>、大学4年生・大学院2年生のそれぞれで、「よく知っていた」の回答は約6割となっており、「ある程度知っていた」の回答との合計は9割以上になっている。

なお、昨年度調査において「就職活動時期後ろ倒し」について知っていたかをたずねた設問への回答結果<sup>7)</sup>と比較すると、今年度調査においては、大学4年生・大学院2年生ともに、「よく知っていた」の回答割合が高くなっている。

図表 2-1-1 就職活動時期変更に関する認知度



図表 2-1-2 【参考・昨年度調査】「就職活動時期後ろ倒し」の認知度



<sup>5)</sup> 以下、「昨年度調査」と表記する。また、それとの対比において、今回実施した「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」を「今年度調査」と表記する。

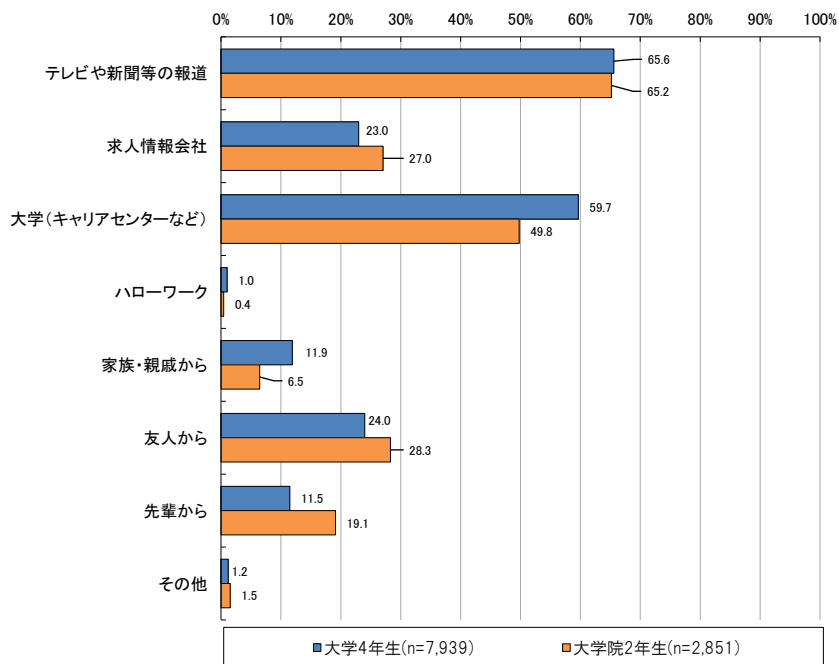
<sup>6)</sup> ここでの今年度調査の集計結果は、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外である。

<sup>7)</sup> 昨年度調査は、「就職活動を行った」者が集計対象で、「就職活動を行わなかった」者は集計の対象外である。

## ②就職活動時期変更に関する情報源

どのようなルートで就職・採用活動の時期の変更を知ったかについてたずねたところ<sup>8</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに、「テレビや新聞等の報道」の回答が6割以上と最も高く、次いで「大学(キャリアセンターなど)」の割合が高くなっている。

図表 2-1-3 就職活動時期変更に関する情報源（複数回答）



<sup>8</sup> 就職・採用活動の時期が昨年度の日程から変更になっていることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答したものは集計の対象外である。

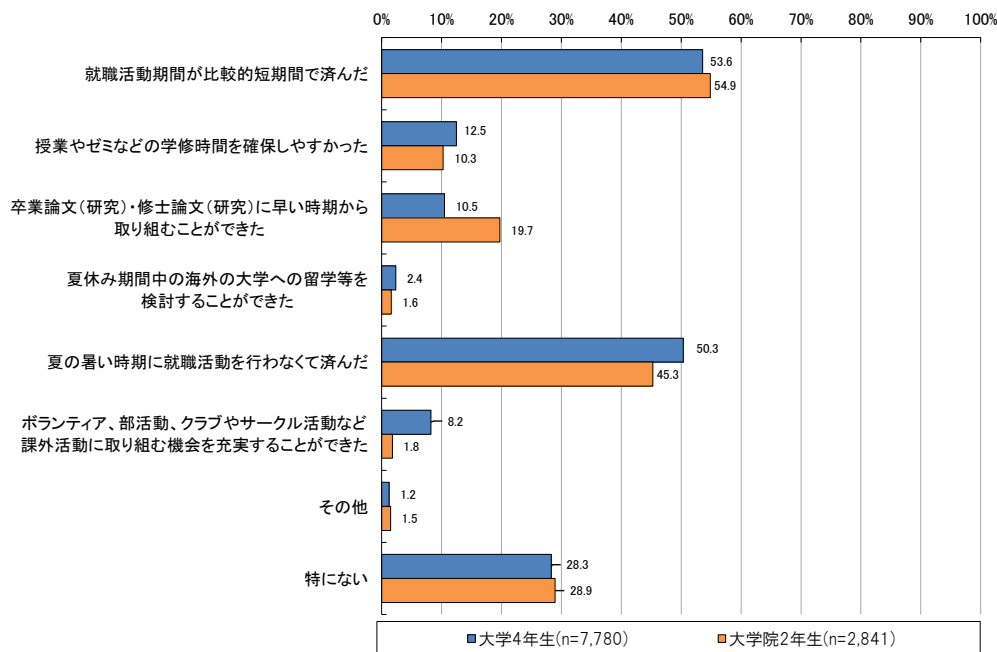
## (2) 就職活動時期変更の影響に関する認識

### ① 就職活動時期変更のよい影響に関する認識

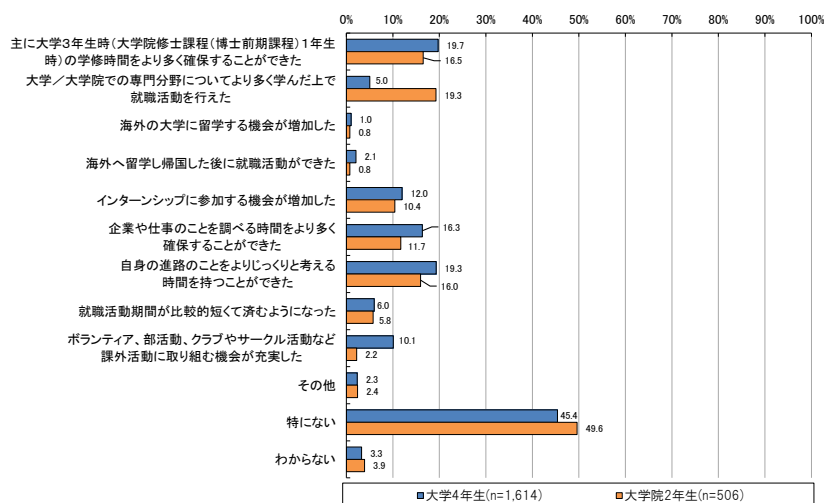
就職・採用活動の時期が変更になったことによりよい影響があったと思うことについてたずねたところ<sup>9</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに、「就職活動期間が比較的短期間で済んだ」の回答割合が5割以上と最も高く、次いで「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」の割合が高くなっている。

なお、昨年度調査では、「特にない」の回答割合が5割近くであったが、今年度調査では3割弱となっている。

図表 2-2-1 就職活動時期変更についてよい影響があったと思うこと（最大3つまで選択）



図表 2-2-2 【参考・昨年度調査】「就職活動時期後ろ倒し」についてよい影響があったと思うこと（最大3つまで選択）



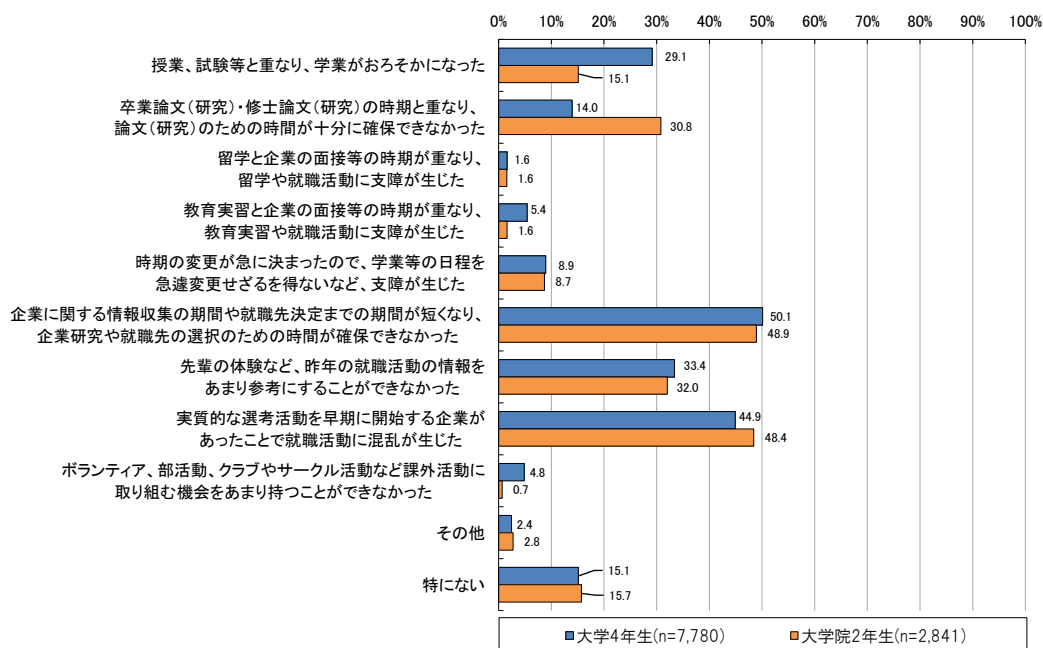
<sup>9</sup> これ以降、特段注記等をしていない場合には、今年度調査は「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象である。なお、昨年度調査は「就職活動を行った」者が集計対象である。

## ②就職活動時期変更に関する課題等に関する認識

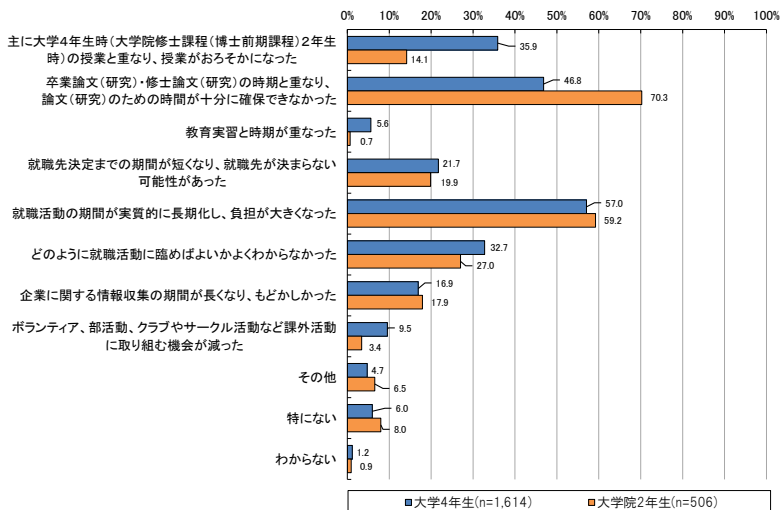
就職・採用活動の時期が変更になったことで課題になったことについてたずねたところ、大学4年生・大学院2年生ともに、「企業に関する情報収集の期間や就職先決定までの期間が短くなり、企業研究や就職先の選択のための時間が確保できなかった」の回答割合が約5割で最も高く、次いで、「実質的な選考活動を早期に開始する企業があったことで就職活動に混乱が生じた」「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報をあまり参考にすることができなかった」の回答割合が高くなっている。

なお、昨年度調査においては、「就職活動の期間が実質的に長期化し、負担が大きくなった」「卒業論文(研究)・修士論文(研究)の時期と重なり、論文(研究)のための時間が十分に確保できなかった」の回答割合が高かった。

図表 2-2-3 就職活動時期変更について課題になったと思うこと（最大3つまで選択）



図表 2-2-4 【参考・昨年度調査】「就職活動時期後ろ倒し」について課題になったと思うこと（最大3つまで選択）



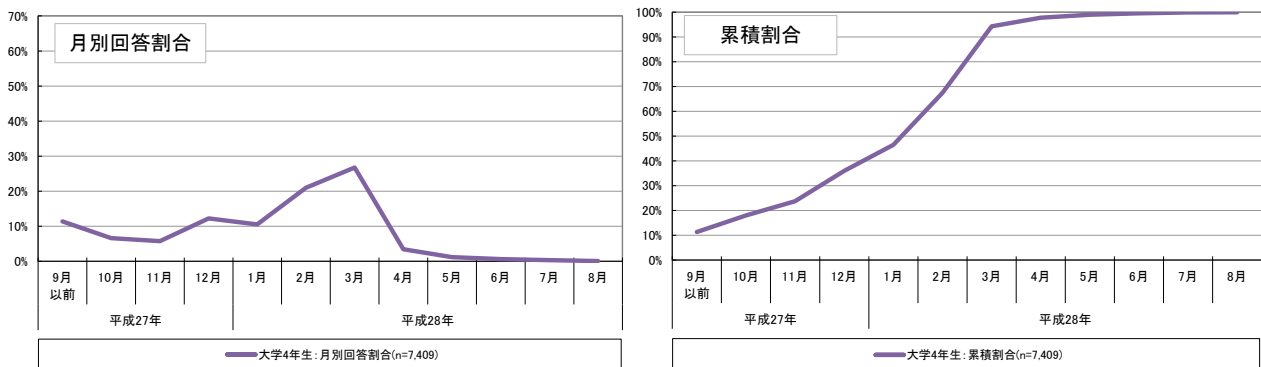
### 3. 就職活動内容

#### (1) 業界や企業に関する分析を開始した時期

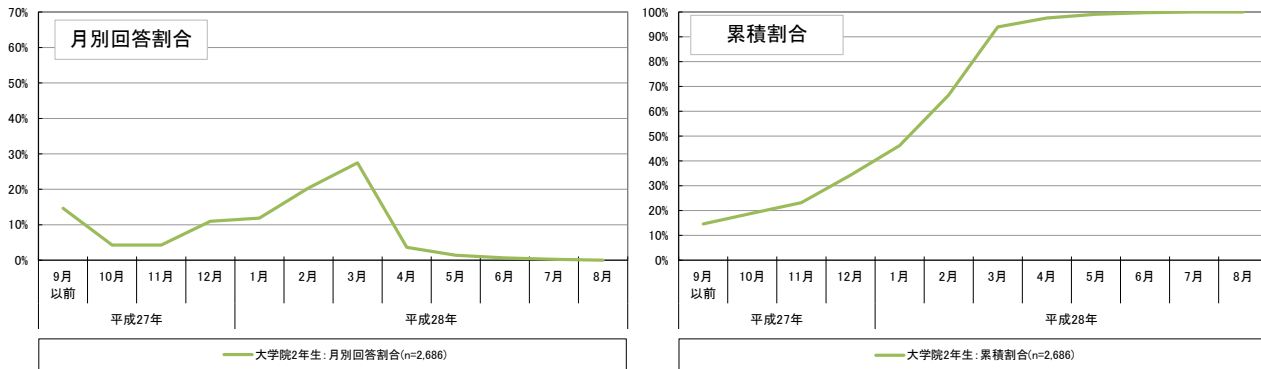
いつごろから業界や企業に関する分析を開始したかをたずねたところ、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年3月」との回答割合が3割弱と最も高く、次いで「平成28年2月」との回答が約2割となっている<sup>10</sup>。また、累積割合をみると、7割弱の者が平成28年2月以前に業界や企業に関する分析を開始したと回答している。

昨年度調査と比較すると、2月に開始したと回答した者の割合は今年度調査のほうが高くなっている。

図表 3-1-1 業界や企業に関する分析を開始した時期（大学4年生）



図表 3-1-2 業界や企業に関する分析を開始した時期（大学院2年生）



図表 3-1-3 業界や企業に関する分析を開始した時期（詳細データ）

<大学4年生>

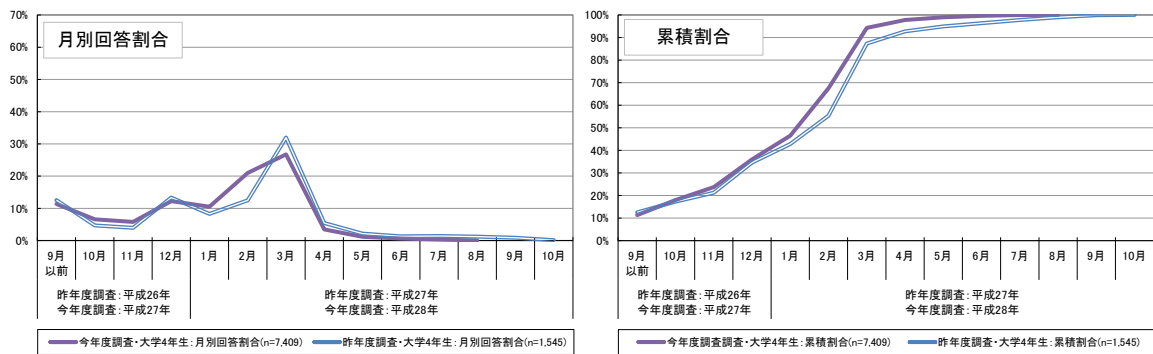
	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	11.4%	6.6%	5.8%	12.2%	10.5%	21.0%	26.7%	3.5%	1.2%	0.6%	0.4%	0.1%
累積割合	11.4%	18.0%	23.8%	36.0%	46.5%	67.5%	94.3%	97.7%	99.0%	99.6%	99.9%	100.0%

<大学院2年生>

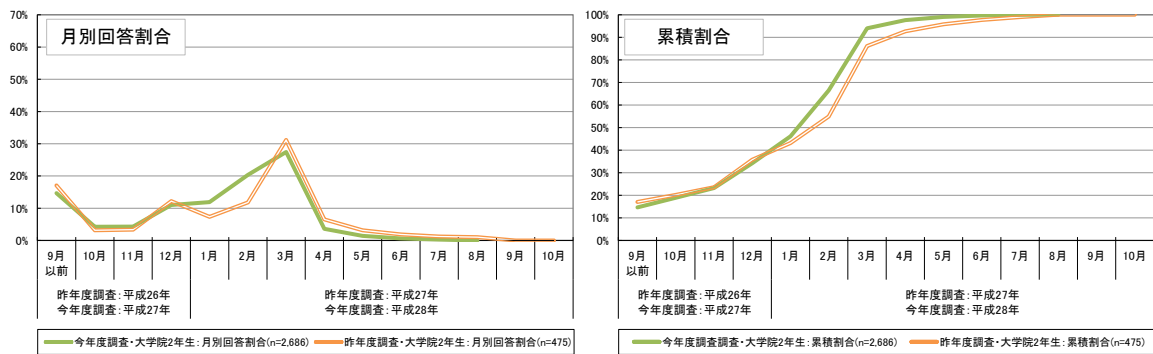
	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	14.7%	4.3%	4.3%	11.0%	11.9%	20.4%	27.5%	3.6%	1.4%	0.6%	0.3%	0.0%
累積割合	14.7%	18.9%	23.2%	34.3%	46.2%	66.5%	94.0%	97.6%	99.0%	99.7%	100.0%	100.0%

<sup>10</sup> 業界や企業に関する分析について「特段行わなかったと回答した者（大学4年生：372件、大学院2年生：155件）は、ここでは集計の対象外とした。なお、昨年度調査も同様に集計を行っている。

図表 3-1-4 【参考・昨年度調査との比較】業界や企業に関する分析を開始した時期  
(大学4年生)



図表 3-1-5 【参考・昨年度調査との比較】業界や企業に関する分析を開始した時期  
(大学院2年生)





## (2) 企業説明会やセミナー等の参加時期

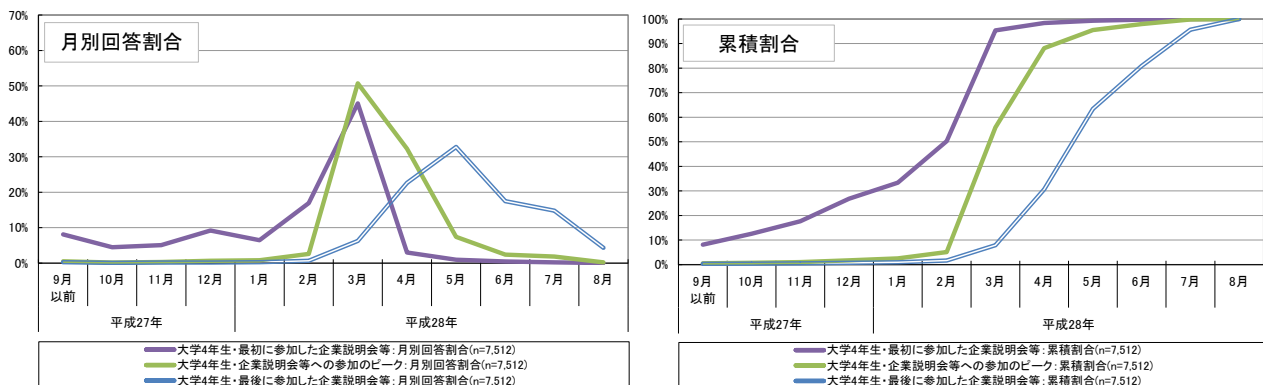
企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」「参加のピーク」「最後に参加した時期」をそれぞれたずねた<sup>11</sup>。

「最初に参加した時期」については、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年3月」の回答割合が約5割と最も高くなっている。また、「参加のピーク」についても、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年3月」の回答割合が5割以上と最も高い。

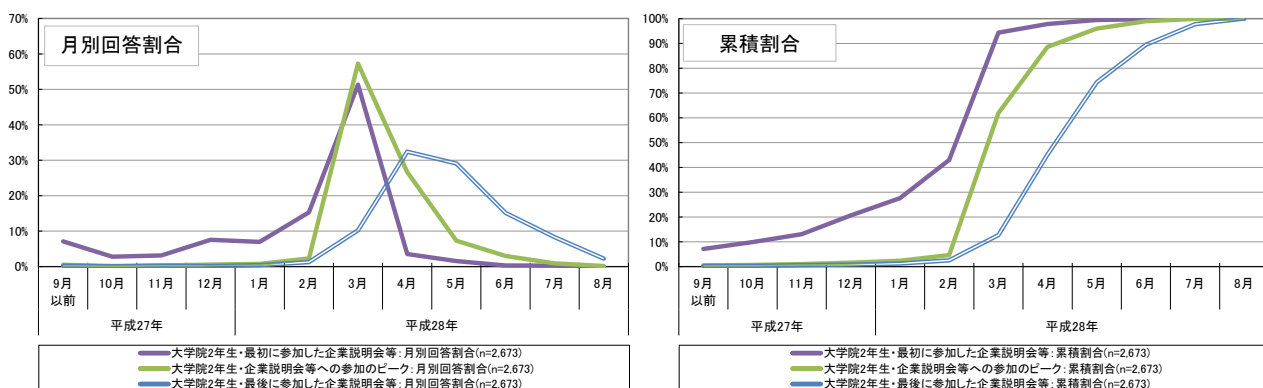
「最後に参加した時期」については、大学4年生では「平成28年5月」の回答割合が3割以上と最も高く、次いで「平成28年4月」が2割以上となっている。大学院2年生では「平成28年4月」の回答割合が3割以上と最も高く、次いで「平成28年5月」の割合が高くなっている。

これら企業説明会やセミナー等の参加時期について昨年度調査と比較すると、「最初に参加した時期」については昨年度と今年度とで回答結果に大きな違いが見られないが、「参加のピーク」「最後に参加した時期」については、今年度はより早期での回答割合が高くなっている。

図表 3-2-1 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学4年生）



図表 3-2-2 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学院2年生）



<sup>11</sup> 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者（大学4年生：269件、大学院2年生：167件）は、ここでは集計の対象外とした。なお、昨年度調査も同様に集計を行っている。

図表 3-2-3 企業説明会やセミナー等の参加時期（詳細データ）

<大学4年生>

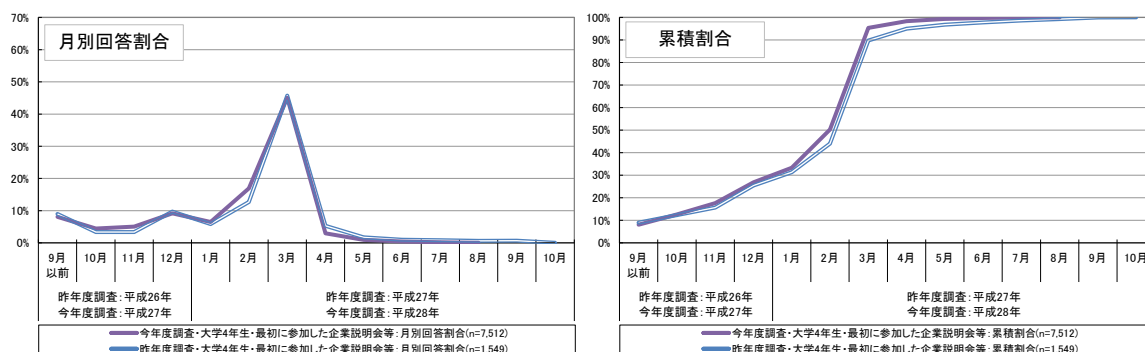
最初の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	8.1%	4.5%	5.1%	9.2%	6.5%	16.9%	45.1%	3.0%	1.0%	0.5%	0.2%	0.0%
累積割合	8.1%	12.6%	17.7%	26.8%	33.3%	50.3%	95.3%	98.3%	99.3%	99.8%	100.0%	100.0%
参加のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.2%	0.3%	0.7%	0.8%	2.6%	50.7%	32.3%	7.4%	2.4%	1.9%	0.2%
累積割合	0.5%	0.7%	1.0%	1.7%	2.5%	5.1%	55.8%	88.1%	95.5%	97.9%	99.8%	100.0%
最後の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.7%	6.3%	22.7%	32.8%	17.5%	14.8%	4.3%
累積割合	0.3%	0.3%	0.5%	0.7%	1.0%	1.6%	7.9%	30.6%	63.4%	80.9%	95.7%	100.0%

<大学院2年生>

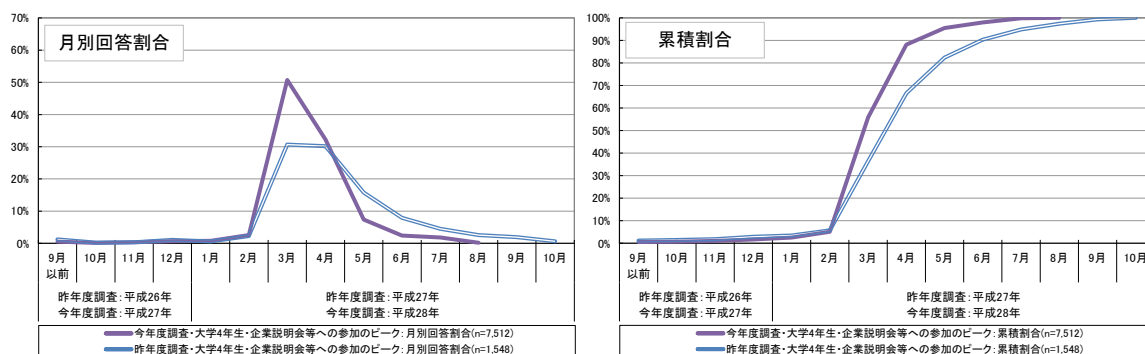
最初の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	7.1%	2.8%	3.2%	7.6%	7.0%	15.3%	51.3%	3.5%	1.6%	0.3%	0.3%	0.0%
累積割合	7.1%	9.9%	13.1%	20.7%	27.7%	43.0%	94.3%	97.8%	99.4%	99.7%	100.0%	100.0%
参加のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.2%	0.3%	0.6%	0.8%	2.3%	57.3%	26.7%	7.3%	3.0%	0.9%	0.2%
累積割合	0.5%	0.7%	1.0%	1.6%	2.4%	4.7%	61.9%	88.6%	95.9%	98.9%	99.8%	100.0%
最後の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3%	0.1%	0.3%	0.2%	0.4%	1.3%	10.2%	32.4%	29.1%	15.2%	8.3%	2.2%
累積割合	0.3%	0.4%	0.6%	0.8%	1.2%	2.5%	12.8%	45.2%	74.3%	89.5%	97.8%	100.0%

図表 3-2-4 【参考・昨年度調査との比較】企業説明会やセミナー等の参加時期（大学4年生）

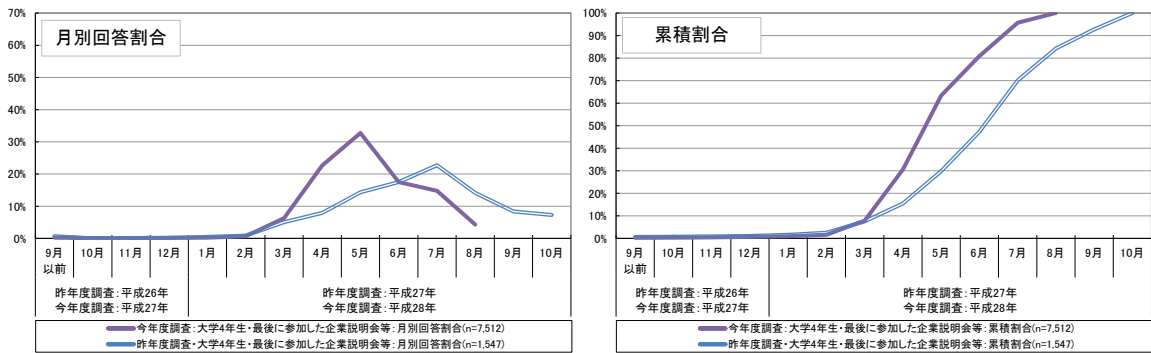
<最初に参加した時期>



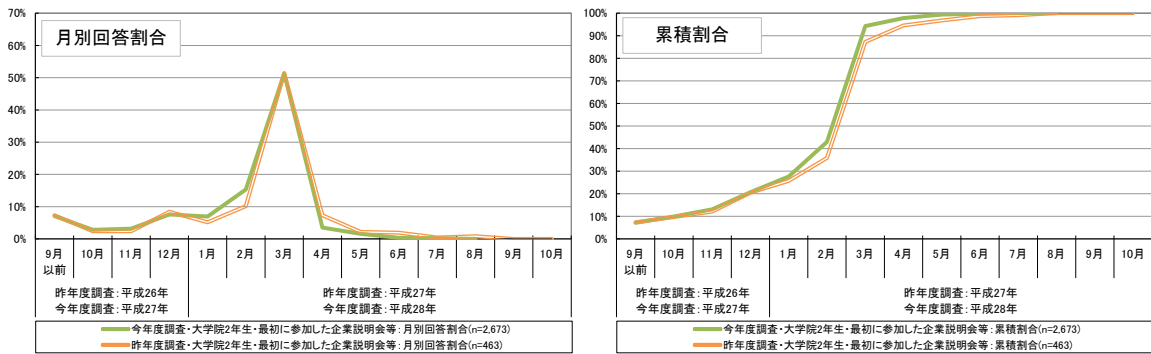
<参加のピーク>



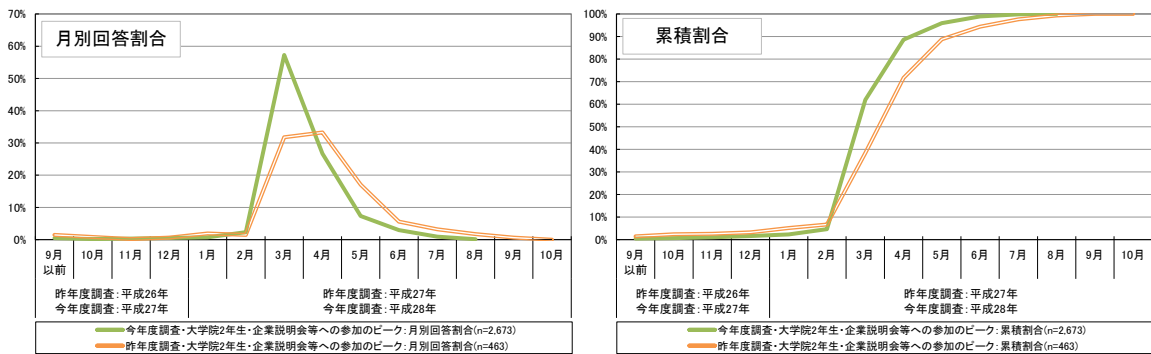
図表 3-2-4 【参考・昨年度調査との比較】企業説明会やセミナー等の参加時期  
(大学4年生)  
＜最後に参加した時期＞



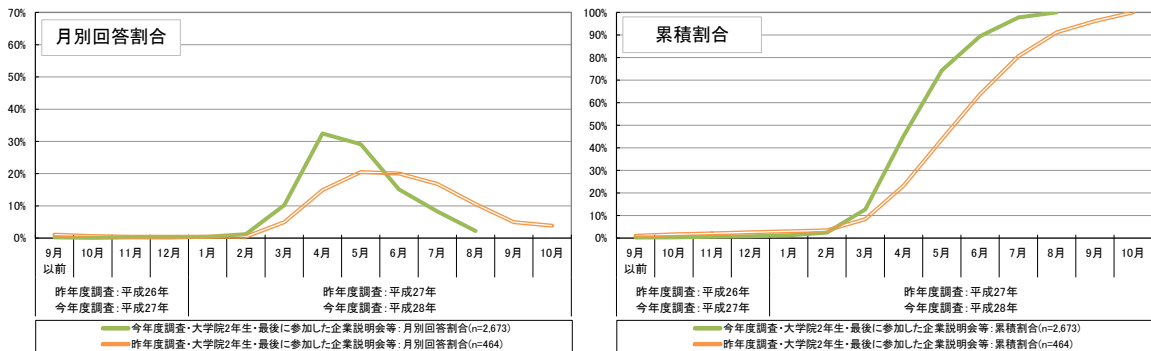
図表 3-2-5 【参考・昨年度調査との比較】企業説明会やセミナー等の参加時期  
(大学院2年生)  
＜最初に参加した時期＞



＜参加のピーク＞



＜最後に参加した時期＞



### (3) エントリーシートの提出時期

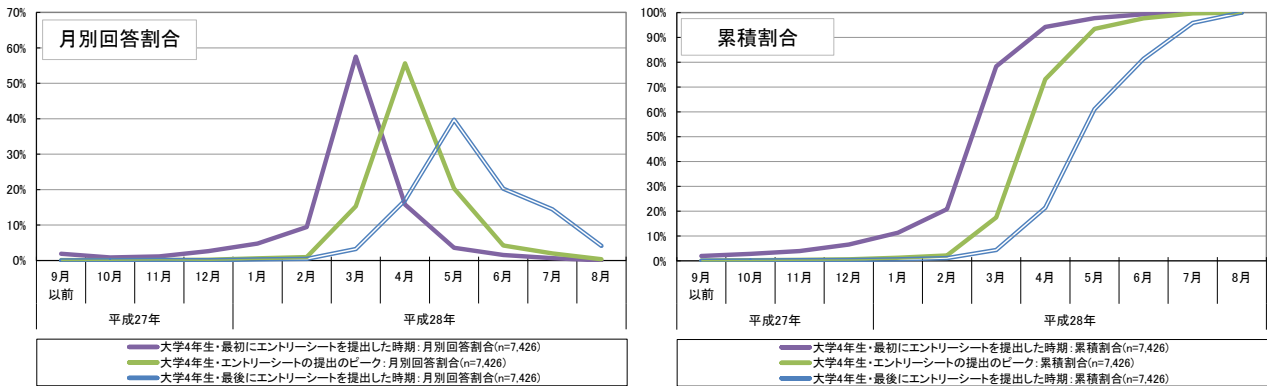
エントリーシートの提出<sup>12</sup>時期について、「最初に提出した時期」「提出のピーク」「最後に提出した時期」をそれぞれたずねた<sup>13</sup>。

「最初に提出した時期」については、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年3月」の回答割合が6割弱と最も高くなっている。

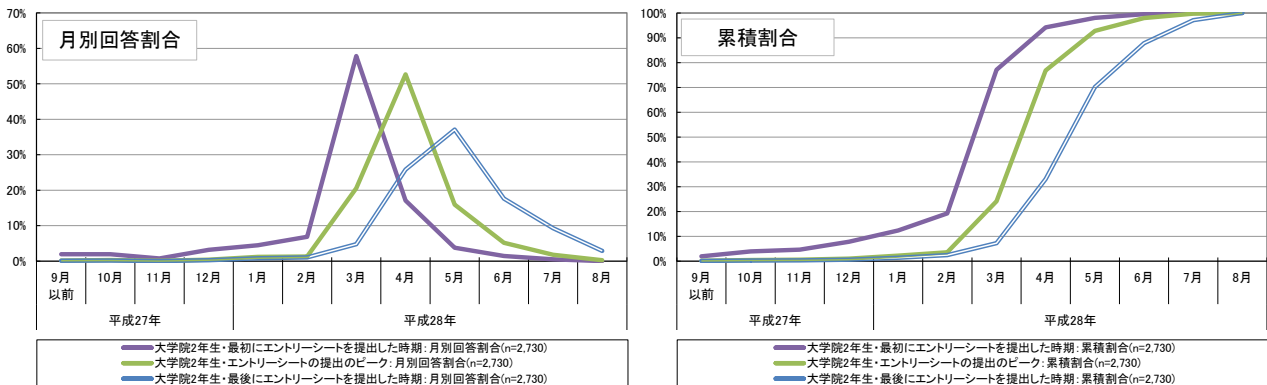
「提出のピーク」については、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年4月」の回答割合が5割以上と最も高く、「最後に提出した時期」については、ともに「平成28年5月」の回答割合が最も高い。

これらエントリーシートの提出時期について昨年度調査と比較すると、「最初に提出した時期」「提出のピーク」「最後に提出した時期」のいずれについても、今年度はより早期での回答割合が高くなっている。

図表 3-3-1 エントリーシートの提出時期（大学4年生）



図表 3-3-2 エントリーシートの提出時期（大学院2年生）



<sup>12</sup> エントリーシートの提出とは、企業や官公庁などの採用選考に参加するための応募シートを提出することをさすものとし、就職情報会社のサイト等への登録のみの場合は提出数に入れないように、回答者に案内した上で調査を行った。

<sup>13</sup> エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者（大学4年生：354件、大学院2年生：111件）は、ここでは集計の対象外とした。なお、昨年度調査も同様に集計を行っている。

図表 3-3-3 エントリーシートの提出時期（詳細データ）

<大学4年生>

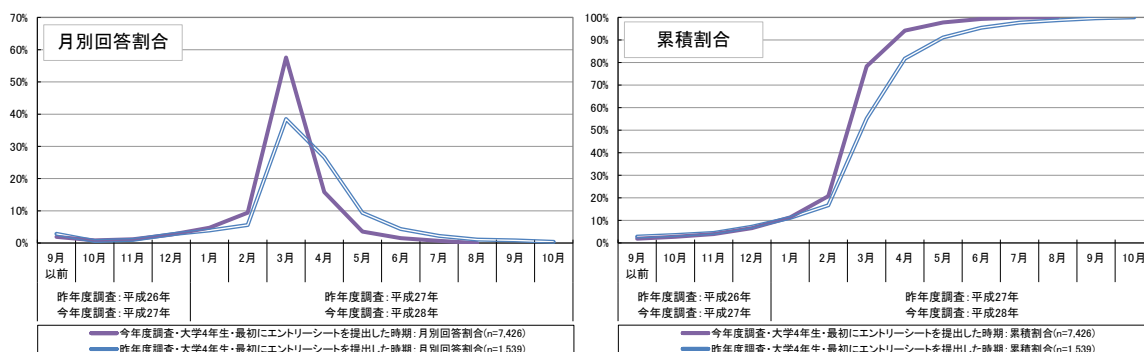
最初の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.9%	0.8%	1.2%	2.6%	4.8%	9.4%	57.6%	15.8%	3.6%	1.5%	0.7%	0.0%
累積割合	1.9%	2.8%	4.0%	6.6%	11.4%	20.8%	78.3%	94.2%	97.7%	99.3%	100.0%	100.0%
提出のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.6%	1.0%	15.3%	55.6%	20.3%	4.2%	2.0%	0.3%
累積割合	0.1%	0.2%	0.4%	0.6%	1.2%	2.2%	17.5%	73.1%	93.4%	97.7%	99.7%	100.0%
最後の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.3%	0.5%	3.2%	17.0%	39.7%	20.3%	14.5%	4.1%
累積割合	0.0%	0.1%	0.3%	0.3%	0.6%	1.1%	4.4%	21.4%	61.1%	81.4%	95.9%	100.0%

<大学院2年生>

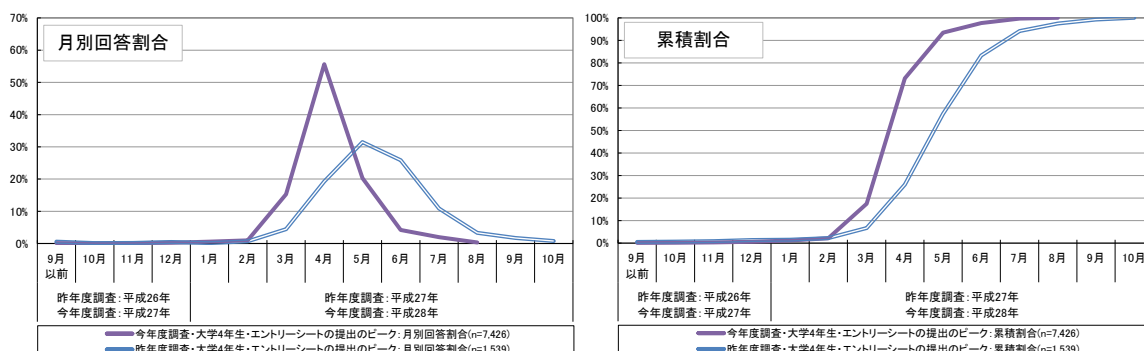
最初の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.0%	2.0%	0.8%	3.2%	4.5%	6.9%	57.8%	17.1%	3.8%	1.5%	0.5%	0.0%
累積割合	2.0%	3.9%	4.7%	7.9%	12.4%	19.3%	77.1%	94.2%	98.0%	99.5%	100.0%	100.0%
提出のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2%	0.3%	0.1%	0.4%	1.2%	1.3%	20.6%	52.7%	15.9%	5.2%	1.8%	0.2%
累積割合	0.2%	0.5%	0.6%	1.0%	2.3%	3.6%	24.2%	76.8%	92.8%	97.9%	99.8%	100.0%
最後の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1%	0.2%	0.0%	0.3%	0.8%	1.1%	4.8%	25.8%	37.1%	17.6%	9.3%	2.9%
累積割合	0.1%	0.3%	0.3%	0.6%	1.4%	2.5%	7.3%	33.1%	70.2%	87.8%	97.1%	100.0%

図表 3-3-4 【参考・昨年度調査との比較】エントリーシートの提出時期  
(大学4年生)

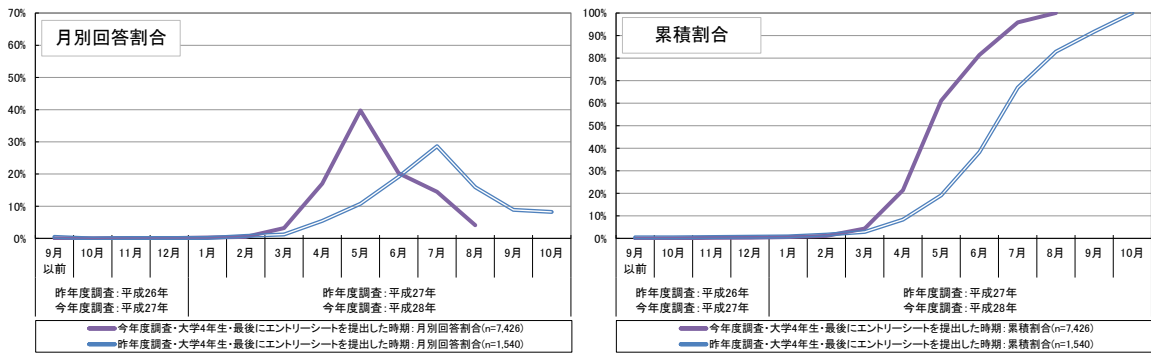
<最初に提出した時期>



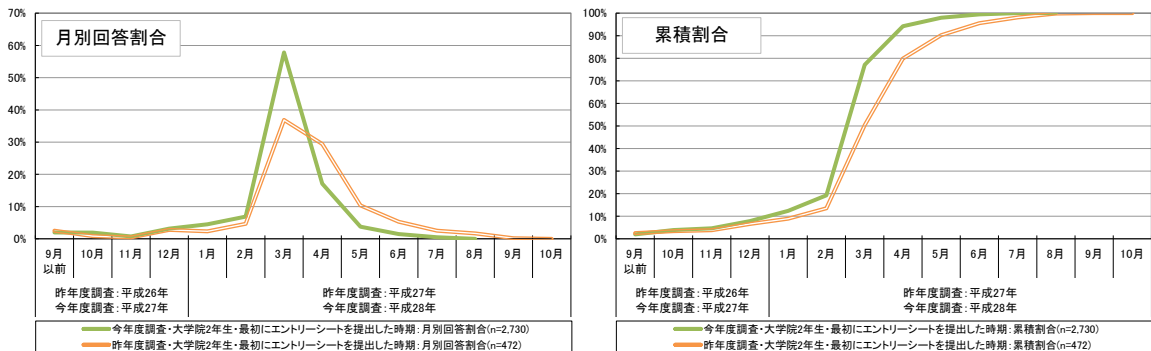
<提出のピーク>



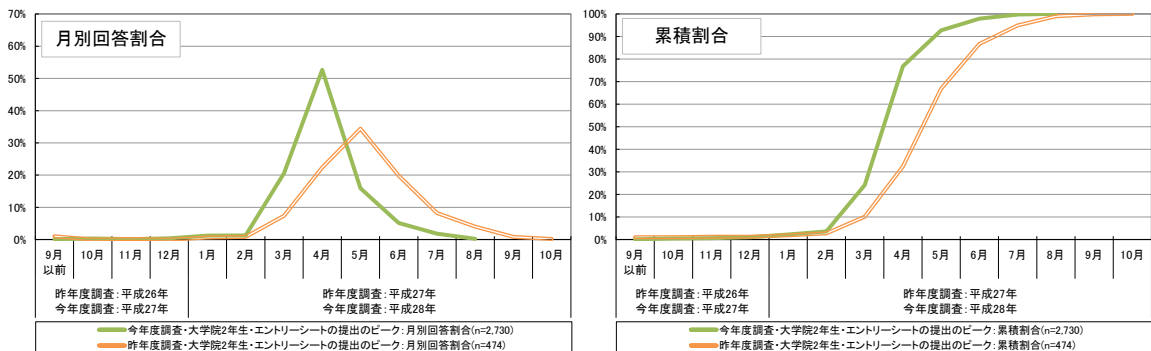
図表 3-3-4 【参考・昨年度調査との比較】エントリーシートの提出時期  
(大学4年生)  
＜最後に提出した時期＞



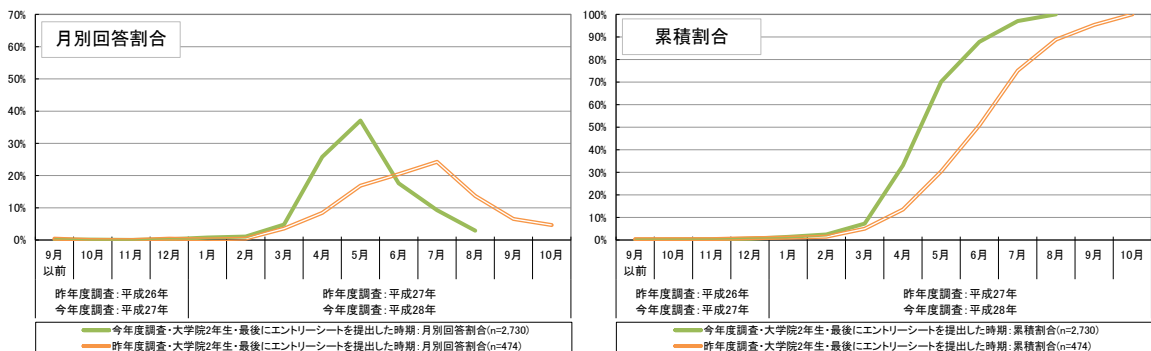
図表 3-3-5 【参考・昨年度調査との比較】エントリーシートの提出時期  
(大学院2年生)  
＜最初に提出した時期＞



＜提出のピーク＞



＜最後に提出した時期＞



## (4) 採用面接の実施時期

### ①月別の回答状況

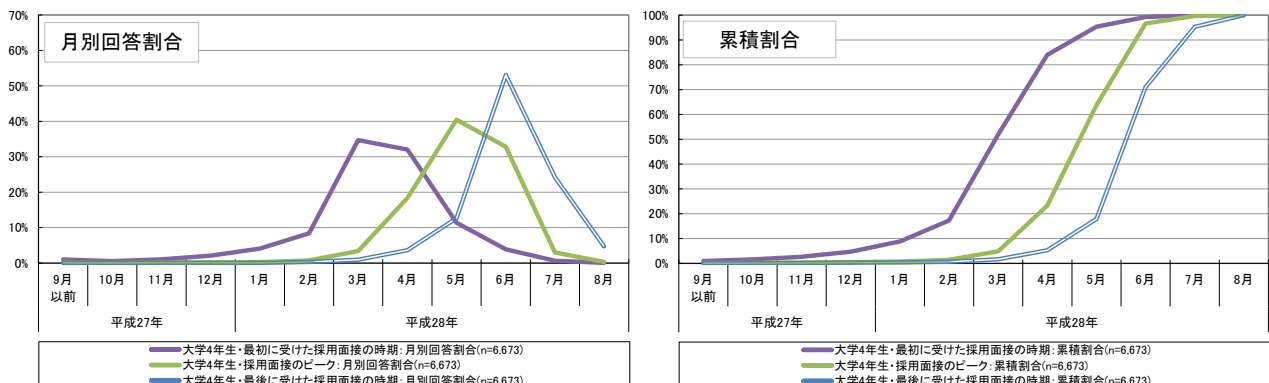
採用面接<sup>14</sup>の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」をそれぞれたずねた<sup>15</sup>。

「最初に受けた採用面接の時期」については、大学4年生では「平成28年3月」「平成28年4月」がそれぞれ3割以上となっており、「平成28年3月」の割合が最も高くなっている。大学院2年生では「平成28年4月」の割合が約4割と最も高くなっている。

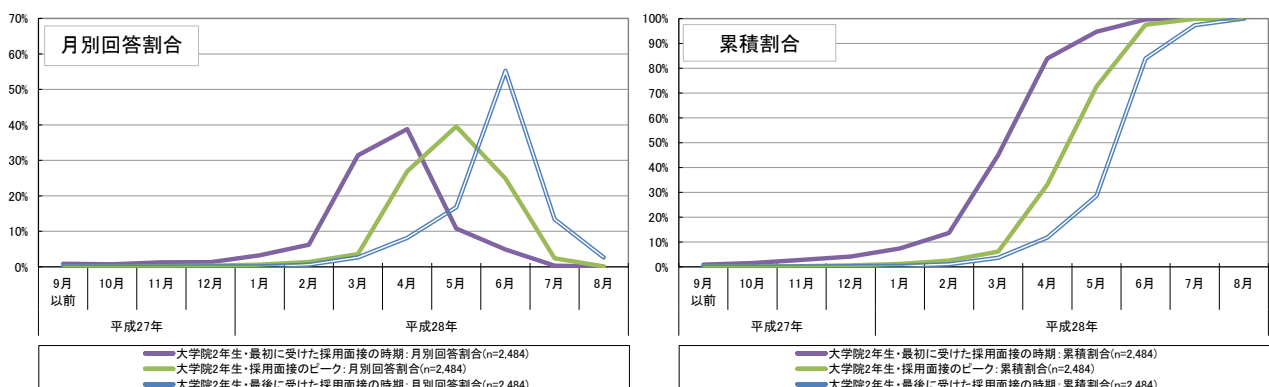
「採用面接のピーク」については、大学4年生・大学院2年生ともに「平成28年5月」が約4割で回答割合が最も高い。「最後に受けた採用面接の時期」については、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年6月」の回答割合が5割以上と最も高くなっている。

これら採用面接を受けた時期について昨年度調査と比較すると、「最初に受けた採用面接の時期」「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」のいずれについても、今年度においてはより早期での回答割合が高くなっている。

図表 3-4-1 採用面接の実施時期（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）



図表 3-4-2 採用面接の実施時期（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）



<sup>14</sup> 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

<sup>15</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点（8月1日時点）において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者（大学4年生95件、大学院2年生26件は、集計の対象外とした。なお、昨年度調査についても、同様の基準で再集計を行った上で比較した。

図表 3-4-3 採用面接の実施時期（詳細データ）

<大学4年生（公務員・教職員志望者除く）>

最初の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.0%	0.6%	1.1%	2.1%	4.1%	8.4%	34.7%	32.0%	11.4%	3.9%	0.7%	0.1%
累積割合	1.0%	1.6%	2.6%	4.7%	8.8%	17.3%	52.0%	84.0%	95.4%	99.2%	99.9%	100.0%
面接のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.8%	3.4%	18.4%	40.5%	32.8%	3.0%	0.4%
累積割合	0.1%	0.2%	0.3%	0.5%	0.7%	1.5%	4.9%	23.3%	63.8%	96.6%	99.6%	100.0%
最後の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.9%	3.6%	12.7%	53.1%	24.2%	4.7%
累積割合	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.4%	0.7%	1.7%	5.3%	17.9%	71.0%	95.3%	100.0%

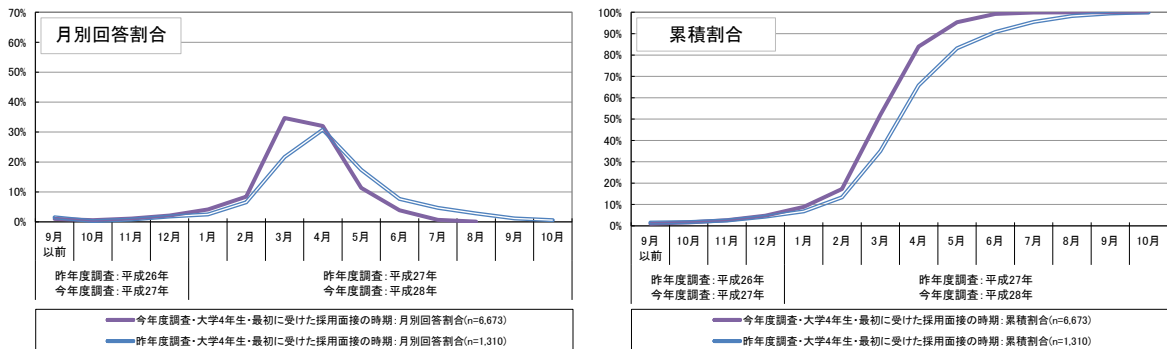
<大学院2年生（公務員・教職員志望者除く）>

最初の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9%	0.7%	1.3%	1.3%	3.3%	6.2%	31.5%	38.8%	10.8%	4.9%	0.3%	0.1%
累積割合	0.9%	1.6%	2.8%	4.2%	7.4%	13.6%	45.1%	83.9%	94.7%	99.6%	99.9%	100.0%
面接のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.2%	0.3%	0.6%	1.4%	3.6%	26.9%	39.6%	24.9%	2.4%	0.1%
累積割合	0.1%	0.1%	0.3%	0.6%	1.2%	2.6%	6.1%	33.1%	72.6%	97.5%	99.9%	100.0%
最後の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.6%	2.6%	8.2%	16.8%	55.3%	13.4%	2.7%
累積割合	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	1.0%	3.7%	11.8%	28.7%	83.9%	97.3%	100.0%

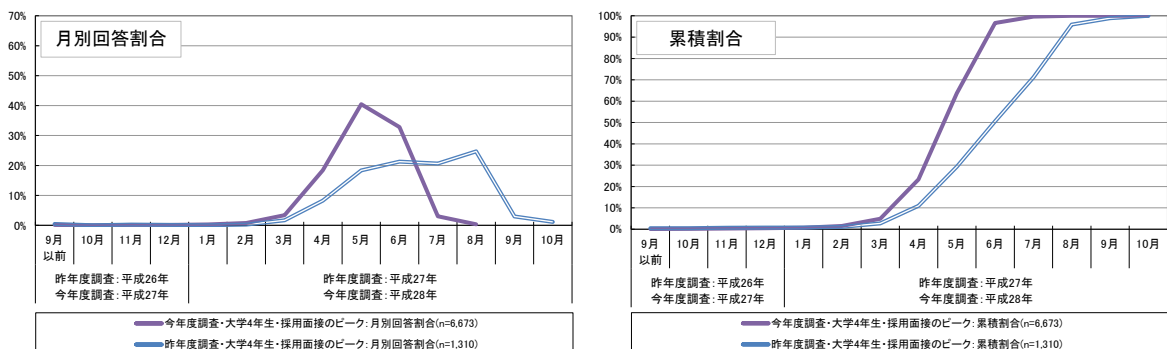
図表 3-4-4 【参考・昨年度調査との比較】採用面接の実施時期

（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）

<最初に受けた採用面接の時期>

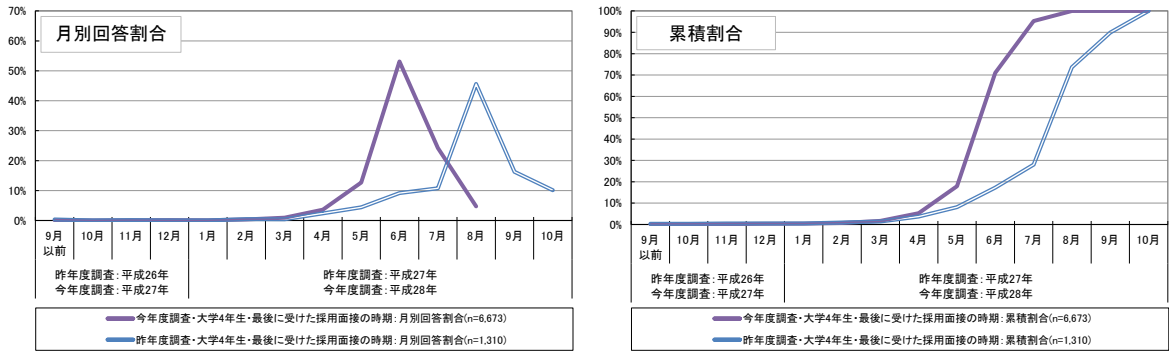


<採用面接のピーク>

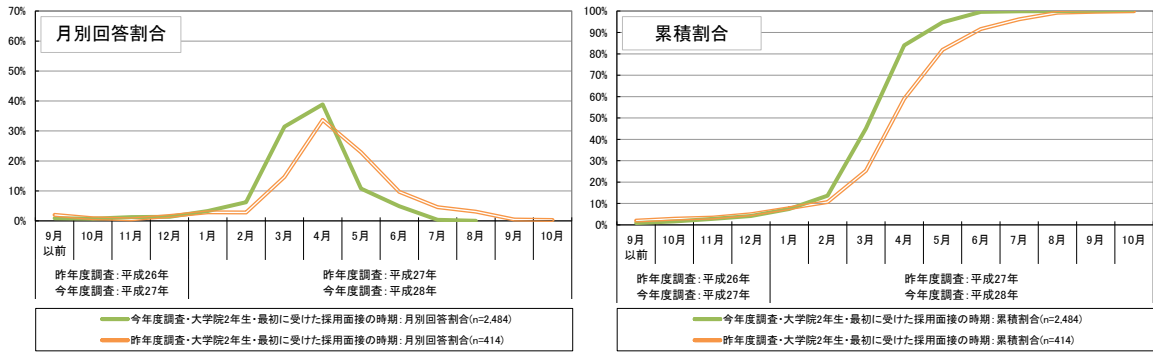




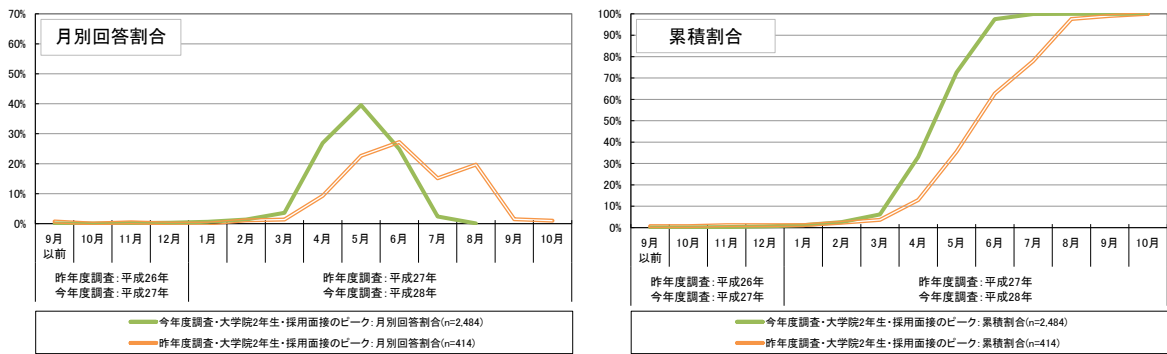
図表 3-4-4 【参考・昨年度調査との比較】採用面接の実施時期  
 (大学4年生、公務員・教職員志望者除く)  
 <最後に受けた採用面接の時期>



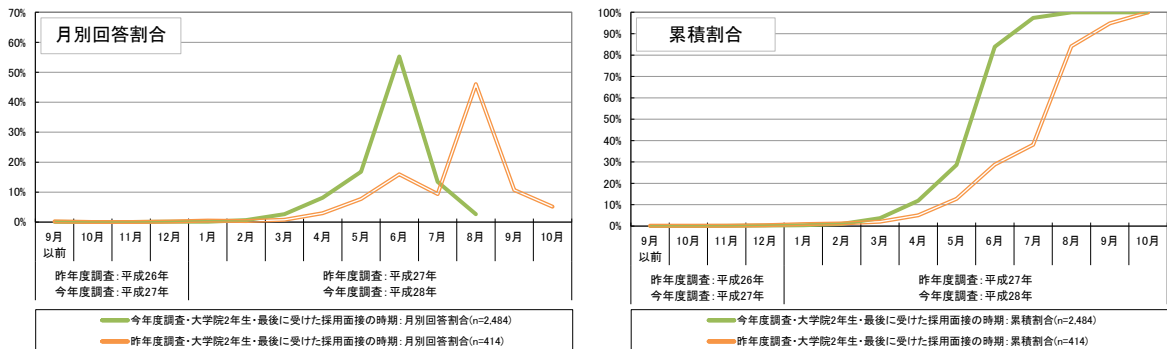
図表 3-4-5 【参考・昨年度調査との比較】採用面接の実施時期  
 (大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)  
 <最初に受けた採用面接の時期>



<採用面接のピーク>



<最後に受けた採用面接の時期>

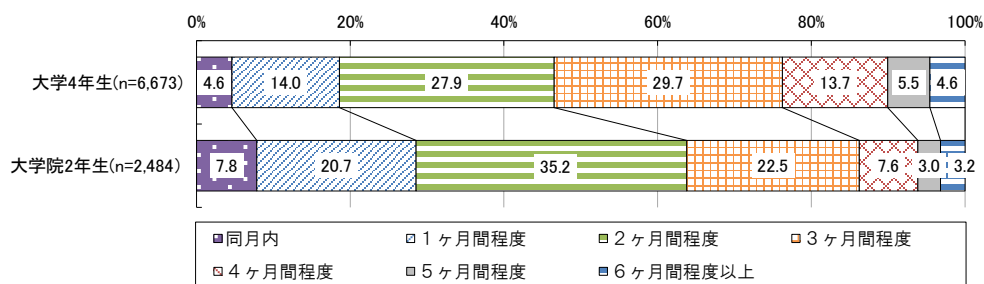


②最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間

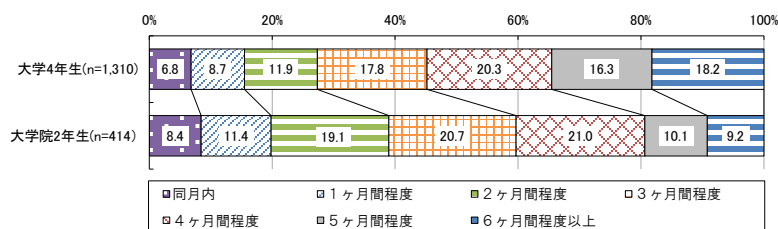
「最初に受けた採用面接の時期」<sup>16</sup>から「最後に受けた採用面接の時期」の間の期間について集計すると<sup>17</sup>、大学4年生では「3ヶ月間程度」の割合が最も高く、大学院2年生では「2ヶ月間程度」の割合が最も高くなっている。

昨年度調査と比較すると、「同月内」の者の割合にはそれほど大きな違いはないが、「1ヶ月間程度」「2ヶ月間程度」「3ヶ月間程度」の回答割合は今年度調査において高くなっている。大学4年生に関して、「同月内」から「3ヶ月間程度」までの割合について昨年度調査では5割弱であったものが今年度調査では8割弱になっている。同様に、大学院2年生に関して、昨年度調査では約6割であったものが9割弱になっている。

図表 3-4-6 最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間  
(公務員・教職員志望者除く)



図表 3-4-7 【参考・昨年度調査】最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間  
(公務員・教職員志望者除く)



<sup>16</sup> 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で得られた回答である。

<sup>17</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点（8月1日時点）において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者（大学4年生95件、大学院2年生26件）は、集計の対象外とした。なお、昨年度調査についても、同様の基準で再集計を行った上で比較した。

<sup>18</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「最初に受けた採用面接の時期」が3月、「最後に受けた採用面接の時期」が6月というように、両者の差が3ヵ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、採用面接を受けていた実際の期間の長さを必ずしも意味するものではない点に留意が必要である。

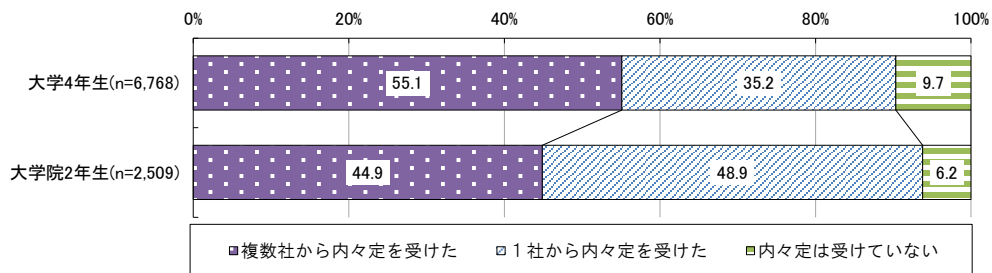
## (5) 内々定の状況・内々定の時期

### ①8月1日時点での内々定の状況

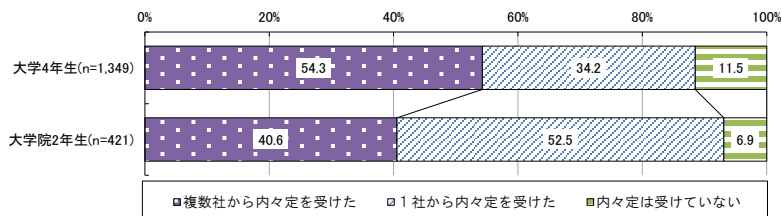
平成28年8月1日時点の内々定の状況についてたずねたところ<sup>19</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに9割以上が内々定を受けている状況にある。また、大学4年生に関しては全体の5割以上、大学院2年生では全体の4割以上が「複数社から内々定を受けた」と回答している。

なお、昨年度調査の平成27年10月1日時点の状況と比較すると、内々定の獲得の状況について昨年度と今年度とで大きな違いは見られない。

図表 3-5-1 平成28年8月1日時点での内々定の状況（公務員・教職員志望者除く）



図表 3-5-2 【参考・昨年度調査】平成27年10月1日時点での内々定の状況（公務員・教職員志望者除く）



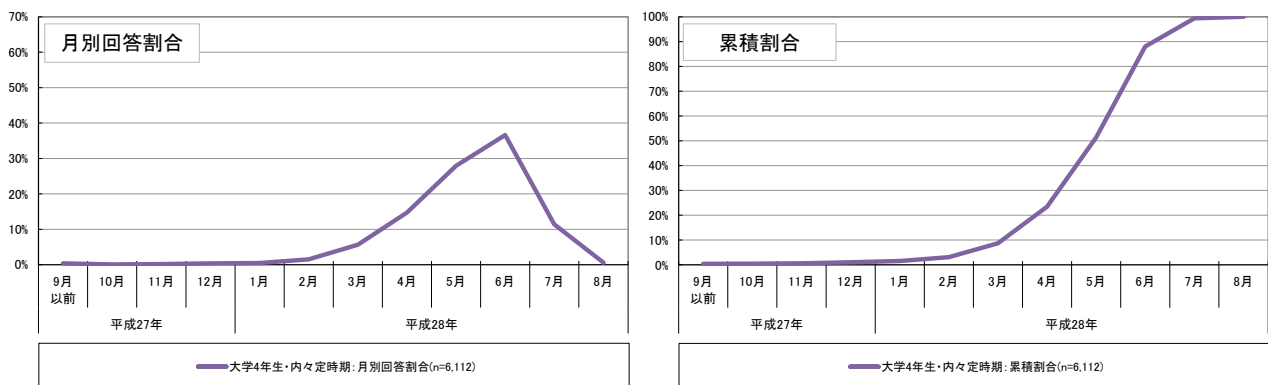
<sup>19</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点（8月1日時点）において採用の面接等が行われていないと想定されることから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。なお、昨年度調査についても、同様の基準で再集計を行った上で比較した。

## ②内々定を受けた時期

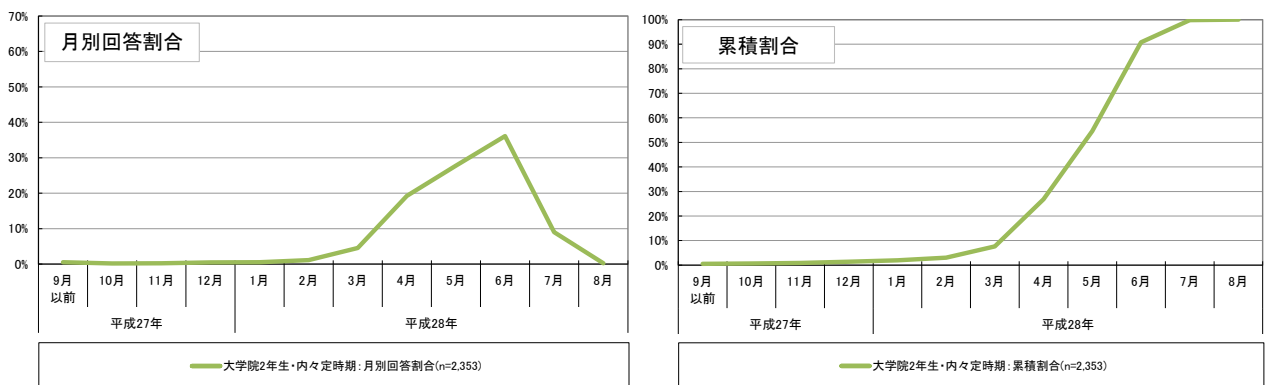
内々定を受けた時期についてみると<sup>20</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年6月」の回答割合が4割弱で最も高く、次いで「平成28年5月」「平成28年4月」の回答割合が順に高くなっている。累積割合では、大学4年生・大学院2年生ともに5割以上の者が平成28年5月以前に内々定を受けたと回答している。

なお、昨年度調査と比較すると、内々定を受けた時期に関して、昨年度は「6月」、「8月」に分散しているが、今年度は「6月」に回答が集中している。

図表 3-5-3 内々定を受けた時期（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）



図表 3-5-4 内々定を受けた時期（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）



<sup>20</sup> 1 社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行い、昨年度調査についても同様の基準で再集計を行った上で比較した。

図表 3-5-5 内々定を受けた時期（詳細データ）

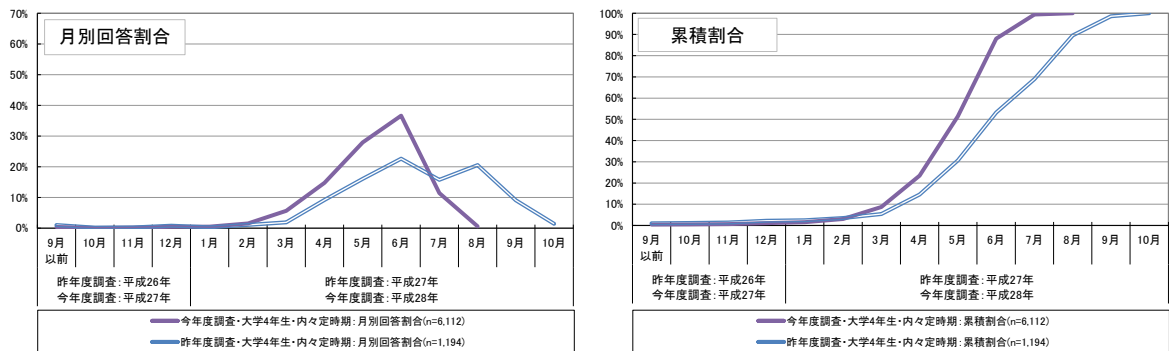
<大学4年生、公務員・教職員志望者除く>

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.1%	0.2%	0.4%	0.5%	1.5%	5.6%	14.7%	27.9%	36.6%	11.4%	0.6%
累積割合	0.4%	0.5%	0.7%	1.1%	1.6%	3.1%	8.7%	23.5%	51.4%	88.0%	99.4%	100.0%

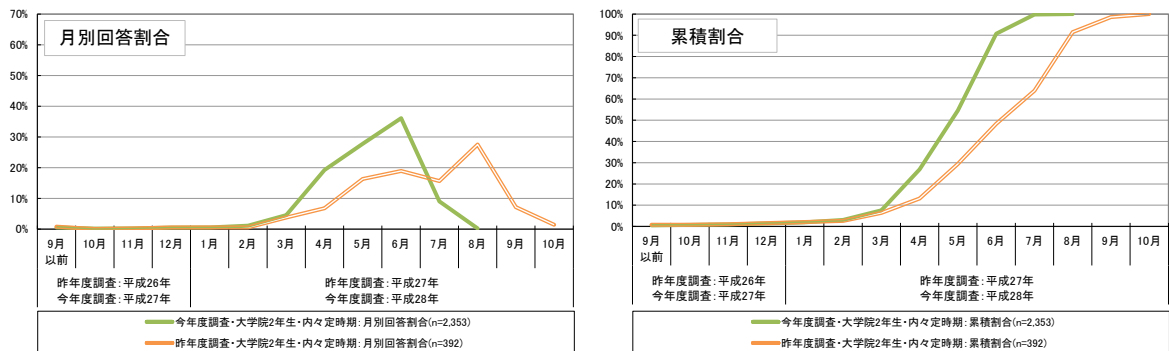
<大学院2年生、公務員・教職員志望者除く>

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.2%	0.2%	0.5%	0.5%	1.1%	4.6%	19.2%	27.8%	36.1%	9.0%	0.2%
累積割合	0.5%	0.7%	0.9%	1.4%	1.9%	3.0%	7.6%	26.8%	54.6%	90.7%	99.8%	100.0%

図表 3-5-6 【参考・昨年度調査との比較】内々定を受けた時期  
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



図表 3-5-7 【参考・昨年度調査との比較】内々定を受けた時期  
(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



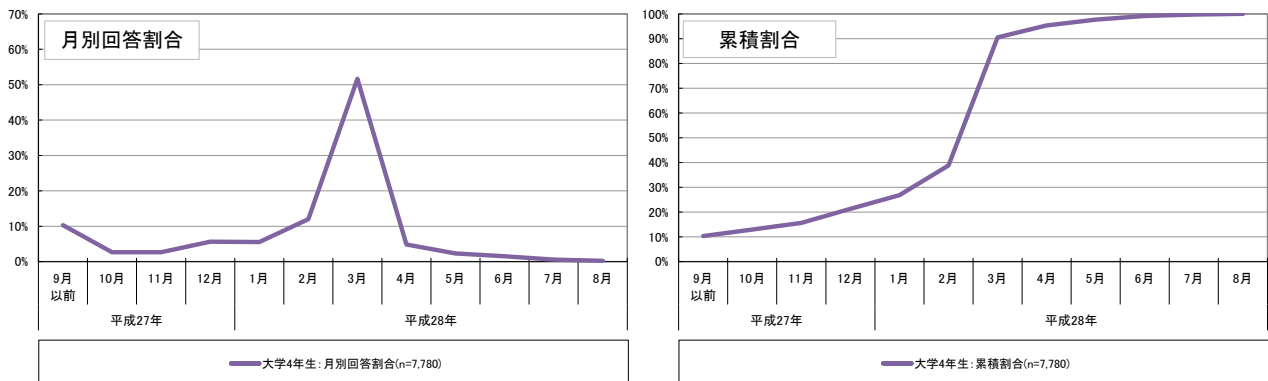
## (6) 就職活動の始まりと終わりの認識

### ①就職活動の始まりの時期についての認識

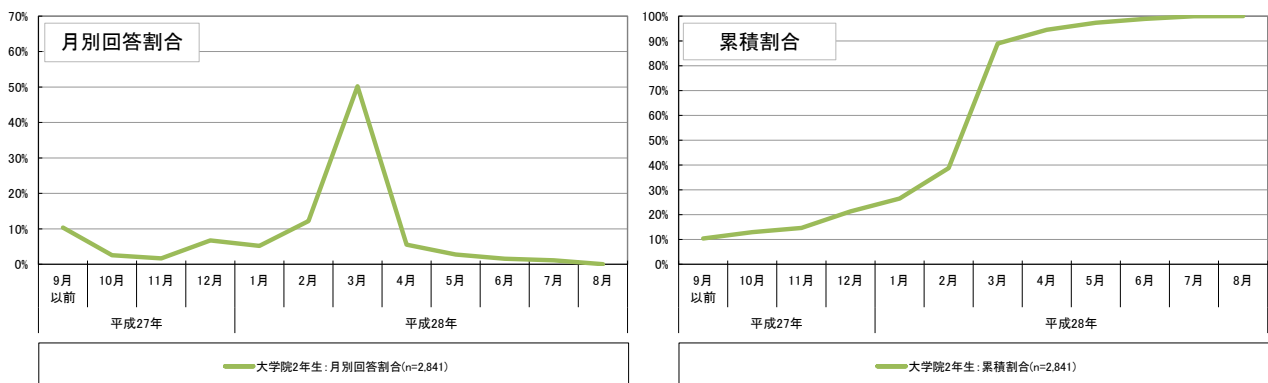
回答者自身の認識として、「就職活動が始まったと考える時期」についてたずねたところ、大学4年生・大学院2年生ともに「平成28年3月」との回答割合が5割以上と最も高くなっている。

昨年度調査と比較すると、「3月」と回答した割合が今年度は比較的高くなっているが、2月以前と回答した者の割合は同程度であった。

図表 3-6-1 就職活動が始まったと考える時期（大学4年生）



図表 3-6-2 就職活動が始まったと考える時期（大学院2年生）



図表 3-6-3 就職活動が始まったと考える時期（詳細データ）

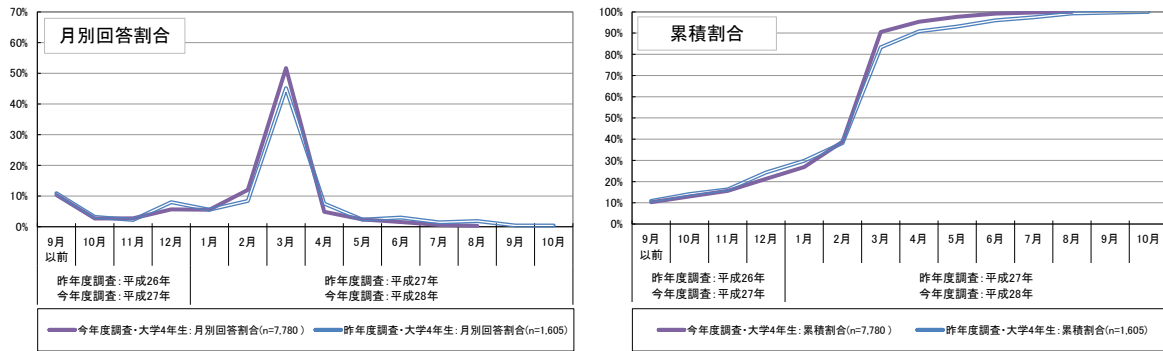
#### <大学4年生>

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	10.3%	2.7%	2.7%	5.6%	5.5%	12.0%	51.7%	4.8%	2.3%	1.5%	0.6%	0.2%
累積割合	10.3%	13.0%	15.7%	21.3%	26.8%	38.8%	90.5%	95.3%	97.7%	99.2%	99.8%	100.0%

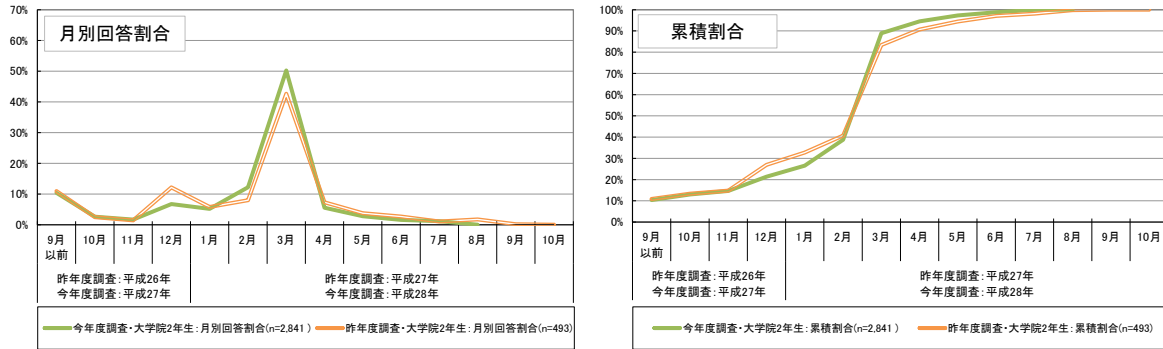
#### <大学院2年生>

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	10.4%	2.6%	1.7%	6.7%	5.2%	12.2%	50.2%	5.5%	2.8%	1.6%	1.1%	0.0%
累積割合	10.4%	13.0%	14.6%	21.4%	26.5%	38.8%	89.0%	94.5%	97.3%	98.9%	100.0%	100.0%

図表 3-6-4 【参考・昨年度調査との比較】就職活動が始まったと考える時期  
(大学4年生)



図表 3-6-5 【参考・昨年度調査との比較】就職活動が始まったと考える時期  
(大学院2年生)

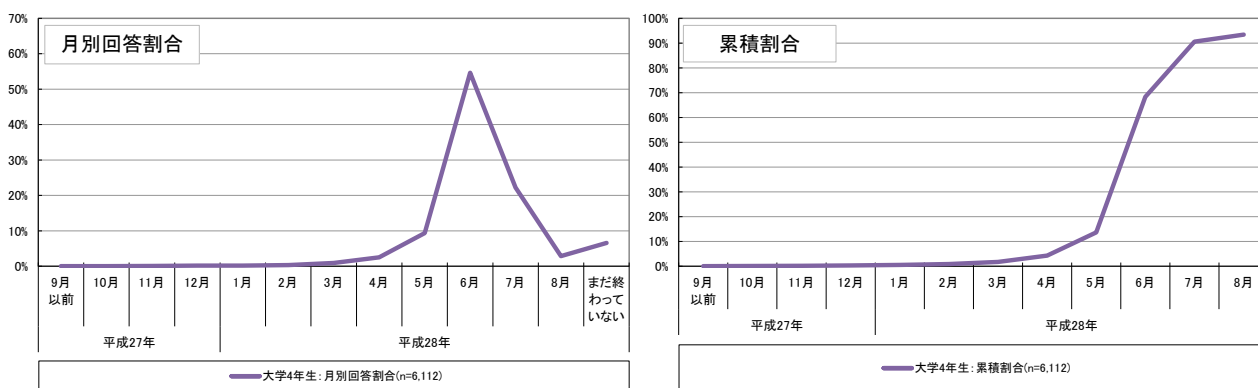


## ②就職活動の終わりの時期についての認識

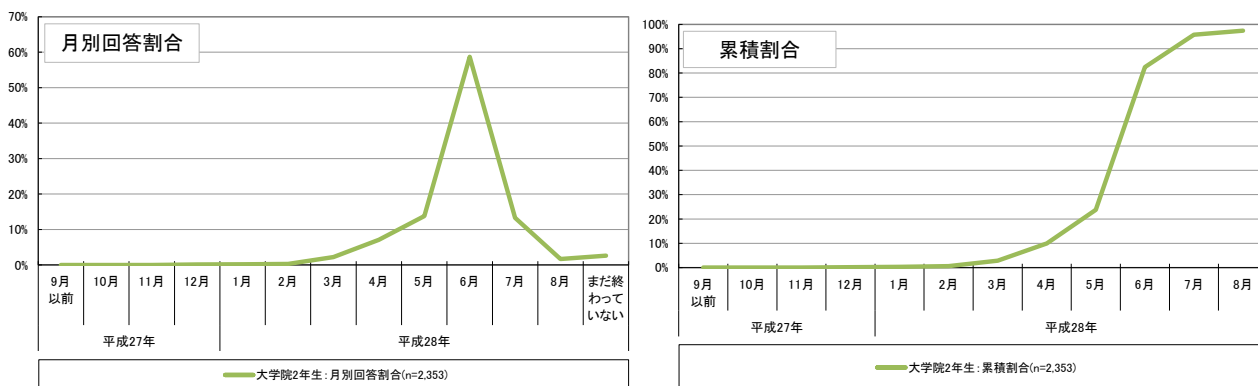
平成 28 年 8 月 1 日時点で内々定を 1 社以上受けたと回答した者<sup>21</sup>に対して、「就職活動が終わったと考える時期」についてたずねたところ、大学 4 年生・大学院 2 年生ともに、「平成 28 年 6 月」の回答割合が 5 割以上となっている。なお、累積割合<sup>22</sup>では、平成 28 年 5 月以前に就職活動が終わったと回答しているのは大学 4 年生で 1 割強、大学院 2 年生では 2 割強となっている。

昨年度調査と比較すると<sup>23</sup>、今年度はより早期での回答割合が高く、また、「6 月」に回答がより集中している。

図表 3-6-6 就職活動が終わったと考える時期（大学 4 年生、公務員・教職員志望者除く）



図表 3-6-7 就職活動が終わったと考える時期（大学院 2 年生、公務員・教職員志望者除く）



21 ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。なお、昨年度調査についても、同様の基準で再集計を行った上で比較した。

22 「まだ終わっていない」と回答した者がいるため、「平成 28 年 8 月」の時点でも累積割合のグラフは 100%にならない。（図表 3-6-9、3-6-10 においても同じ）



図表 3-6-8 就職活動が終わったと考える時期（詳細データ）

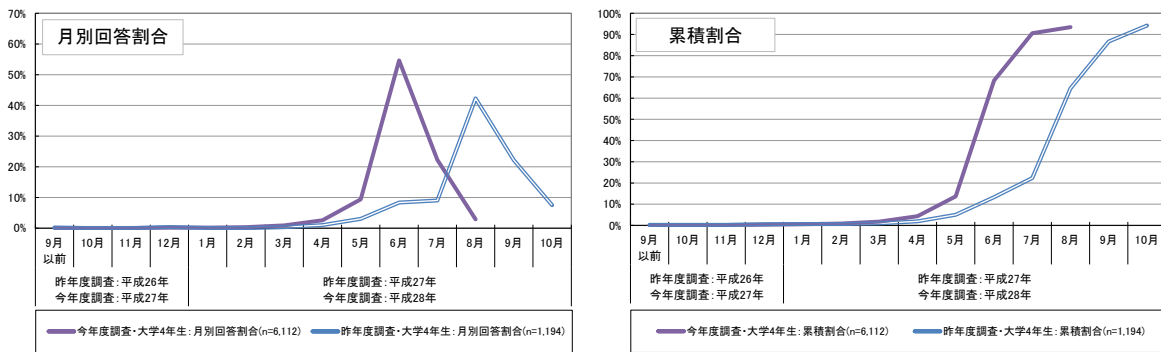
＜大学4年生、公務員・教職員志望者除く＞

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.9%	2.5%	9.4%	54.6%	22.2%	2.9%	6.6%
累積割合	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	0.5%	0.9%	1.8%	4.3%	13.7%	68.3%	90.6%	93.4%	—

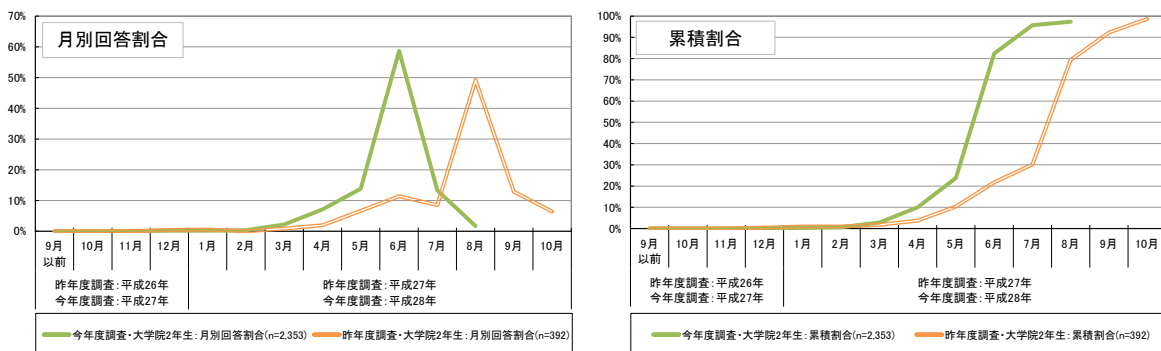
＜大学院2年生、公務員・教職員志望者除く＞

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	2.2%	7.1%	13.8%	58.7%	13.3%	1.7%	2.6%
累積割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.6%	2.8%	9.9%	23.7%	82.4%	95.7%	97.4%	—

図表 3-6-9 【参考・昨年度調査との比較】就職活動が終わったと考える時期  
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



図表 3-6-10 【参考・昨年度調査との比較】就職活動が終わったと考える時期  
(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

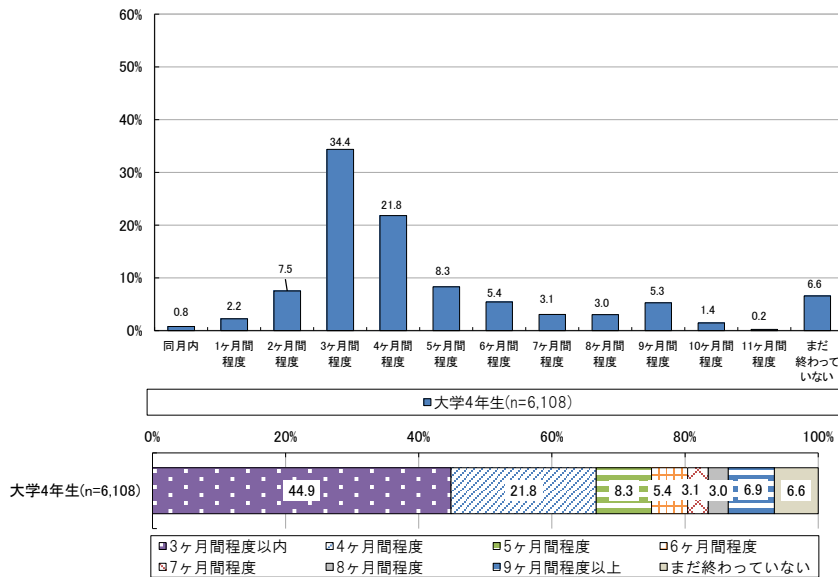


### ③就職活動の始まりから終わりまでの期間

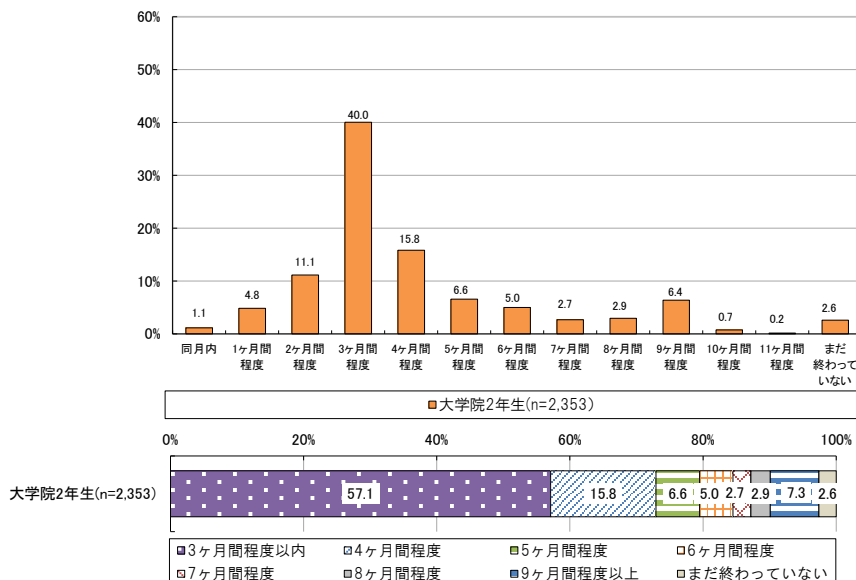
「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について集計すると<sup>24</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに「3ヶ月間程度<sup>25</sup>」の回答割合が最も高く、次いで「4ヶ月間程度」の割合が高くなっている。

昨年度調査と比較すると、全体として就職活動の始まりから終わりまでの期間が短くなった傾向にある。

図表 3-6-11 就職活動の始まりから終わりまでの期間（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）



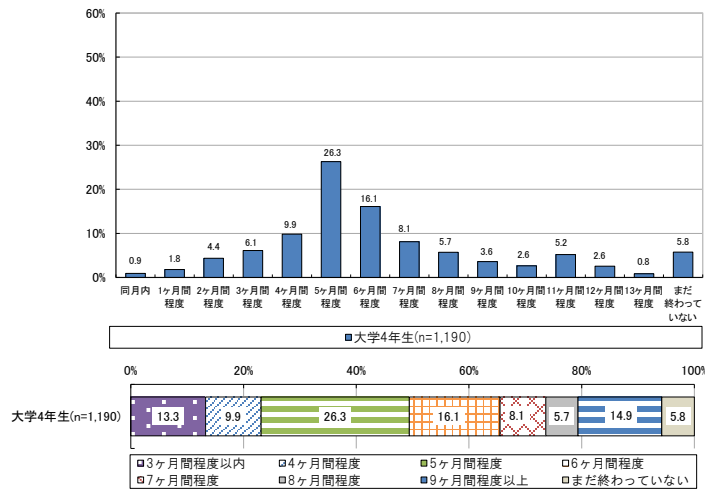
図表 3-6-12 就職活動の始まりから終わりまでの期間（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）



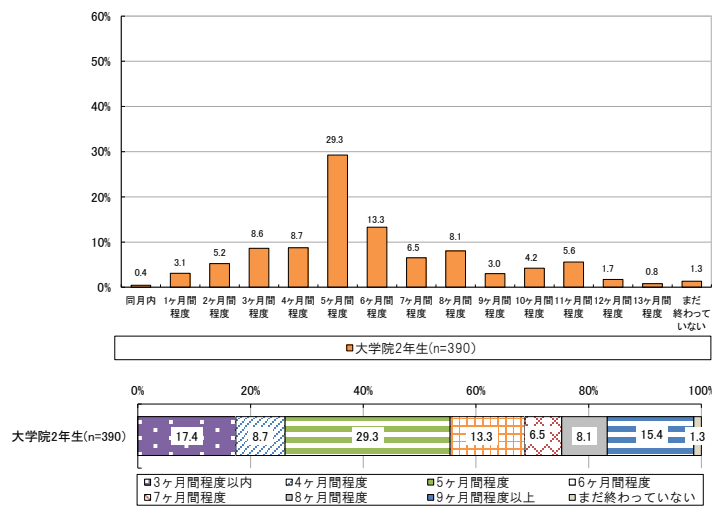
<sup>24</sup> 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。なお、昨年度調査についても、同様の基準で再集計を行った上で比較した。

<sup>25</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヵ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、就職活動を行っていた実際の期間の長さを必ずしも意味するものではない点に留意が必要である。

図表 3-6-13 【参考・昨年度調査】就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



図表 3-6-14 【参考・昨年度調査】就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



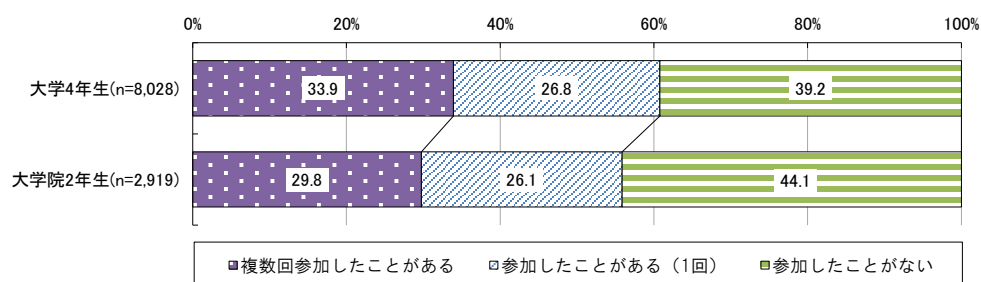
## (7) インターンシップの参加状況

### ①参加の有無

インターンシップ参加経験についてたずねたところ<sup>26</sup>、大学4年生・大学院2年生ともに、約6割が「参加したことがある」と回答している。なお、それぞれ全体の約3割が「複数回参加したことがある」と回答している。

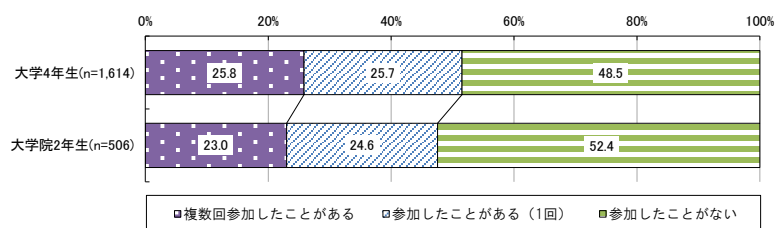
昨年度調査と比較すると、今年度は「参加したことがある」の回答割合が高くなっている。

図表 3-7-1 インターンシップ参加経験の有無



図表 3-7-2 【参考・昨年度調査】インターンシップ参加経験の有無

(就職活動を行っていない者を除く)

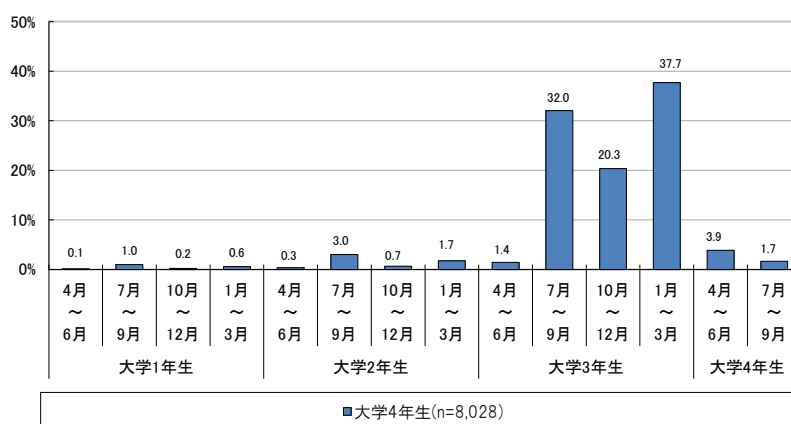


<sup>26</sup> 今年度調査の集計結果は、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外である。なお、昨年度調査では、就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して再集計を行った上で比較した。

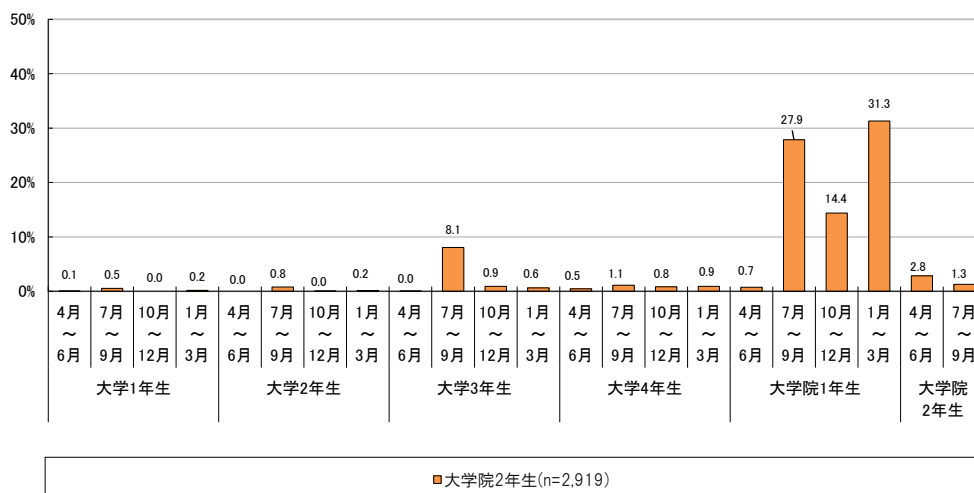
## ②参加時期

インターンシップ参加の時期についてみると<sup>27</sup>、大学3年生・大学院1年生の「1月～3月」の参加割合が最も高く、次いで大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」の割合が高くなっている。昨年度調査<sup>28</sup>では就職活動実施前年の「7月～9月」の参加割合が最も高くなっている。

図表 3-7-3 インターンシップ参加時期（大学4年生、複数回答）



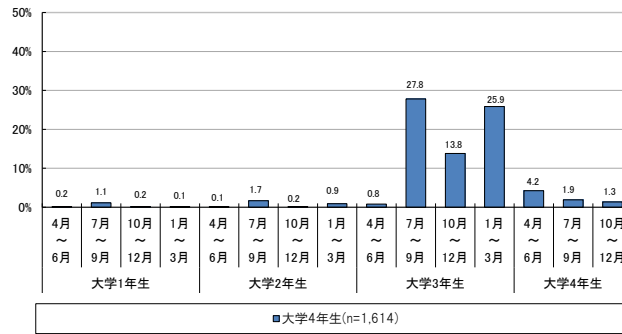
図表 3-7-4 インターンシップ参加時期（大学院2年生、複数回答）



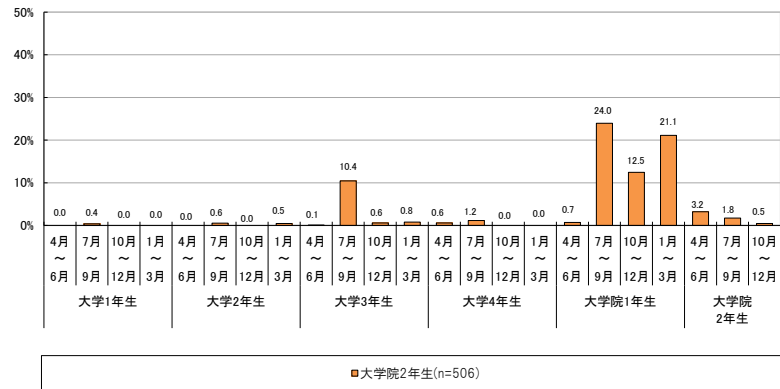
<sup>27</sup> ここでの集計対象（母数）には、インターンシップに参加しなかった者も含む。

<sup>28</sup> 昨年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して再集計を行った上で比較した。

図表 3-7-5 【参考・昨年度調査】 インターンシップ参加時期  
 (大学4年生、就職活動を行っていない者を除く、複数回答)



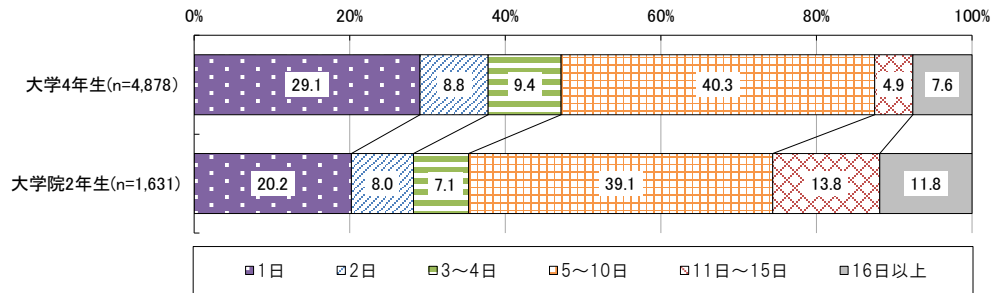
図表 3-7-6 【参考・昨年度調査】 インターンシップ参加時期  
 (大学院2年生、就職活動を行っていない者を除く、複数回答)



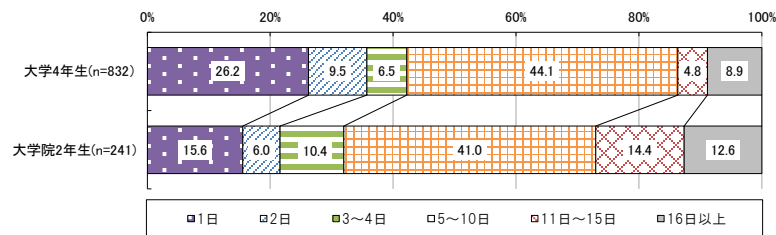
### ③参加日数

インターンシップ参加経験者の参加日数<sup>29</sup>について、大学4年生・大学院2年生ともに、「5～10日」の回答割合が最も高くなっており、次いで「1日」の回答割合が高くなっている。なお、大学4年生と比べて、大学院2年生のほうが、比較的長期間のインターンシップ参加経験がある者の割合が高くなっている。こうした傾向は昨年度調査<sup>30</sup>と比較しても共通している。

図表 3-7-7 インターンシップ参加経験者のインターンシップ参加日数



図表 3-7-8 【参考・昨年度調査】インターンシップ参加経験のインターンシップ参加日数  
(就職活動を行っていない者を除く)



<sup>29</sup> 1回のみ参加したことがある場合にはその日数に関して、複数回参加したことがある場合には最長の日数に関して集計を行った。

<sup>30</sup> 昨年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して再集計を行った上で比較した。

## 4. 企業から学業などに対する配慮の状況等

### (1) 就職活動と学修時間確保の状況

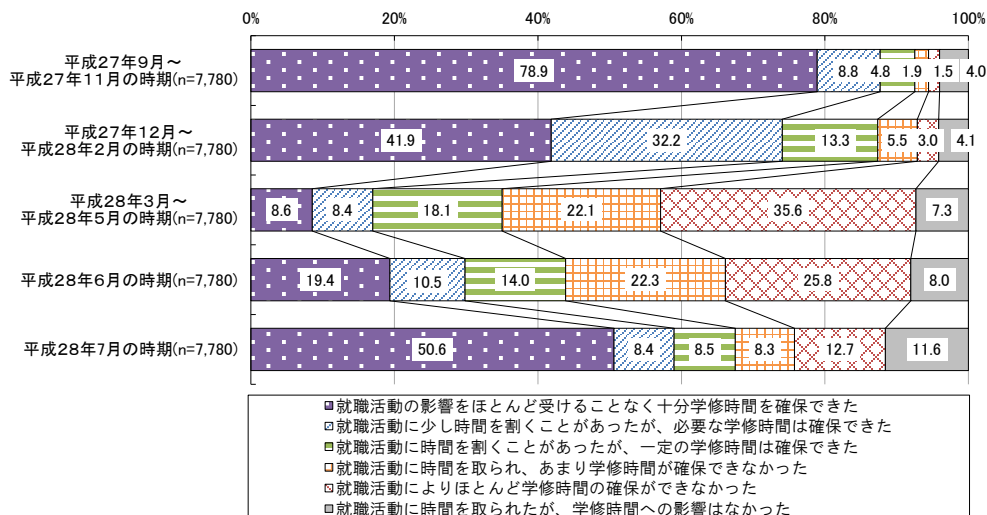
就職活動と学修時間確保の状況について、平成27年9月以降の状況をたずねた。

大学4年生・大学院2年生ともに、「平成27年9月～11月の時期」については、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」が8割弱となっている。「平成27年12月～平成28年2月の時期」についても、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」の回答割合が最も高く、また、「一定の学修時間は確保できた」までの回答が9割弱となっている。

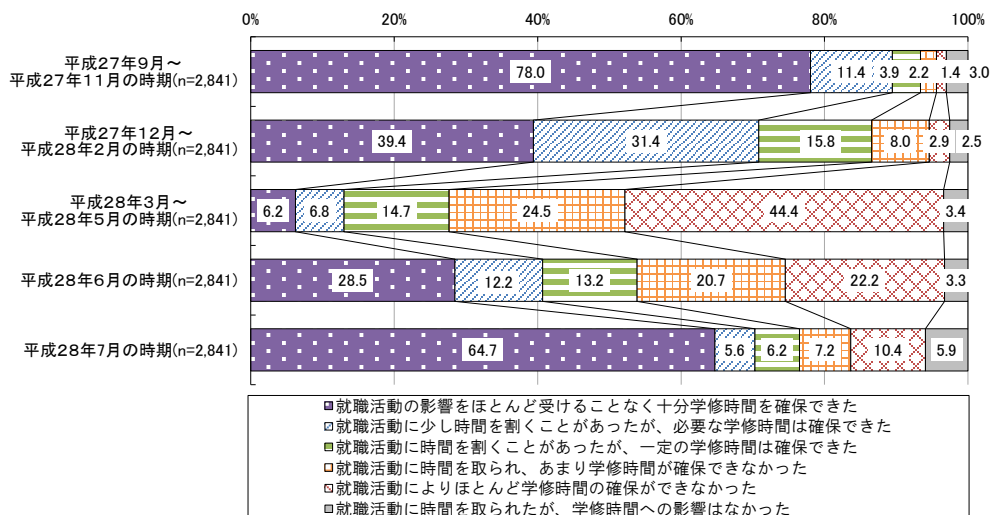
広報活動が開始された「平成28年3月～5月の時期」は、「就職活動によりほとんど学修時間の確保ができなかった」の回答割合が最も高くなっている。「平成28年7月」の時期に関しては、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」の回答割合が大学4年生では5割以上、大学院2年生では6割以上と、再び高くなっている。

昨年度調査と比較すると、今年度においては、卒業・修了前年度の2月までの時期及び6月～7月の時期の学修時間が確保できたと回答した者の割合が高くなっている。

図表 4-1-1 就職活動と学修時間確保の状況（大学4年生）

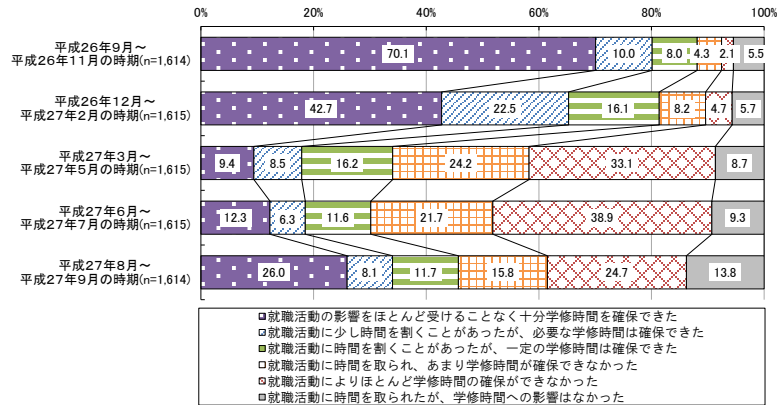


図表 4-1-2 就職活動と学修時間確保の状況（大学院2年生）

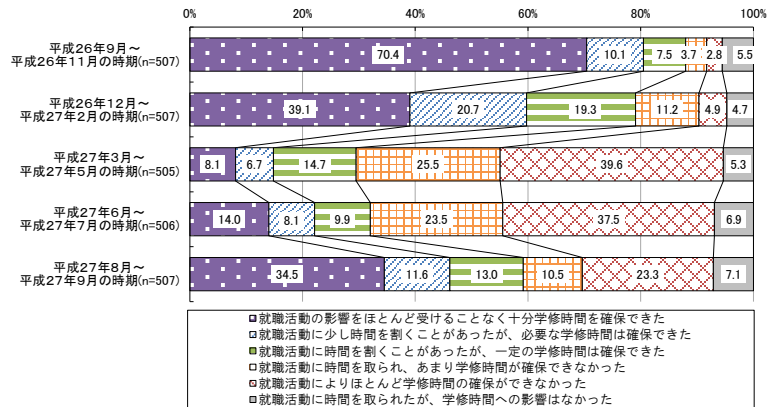




図表 4-1-3 【参考・昨年度調査】 就職活動と学修時間確保の状況（大学4年生）



図表 4-1-4 【参考・昨年度調査】 就職活動と学修時間確保の状況（大学院2年生）

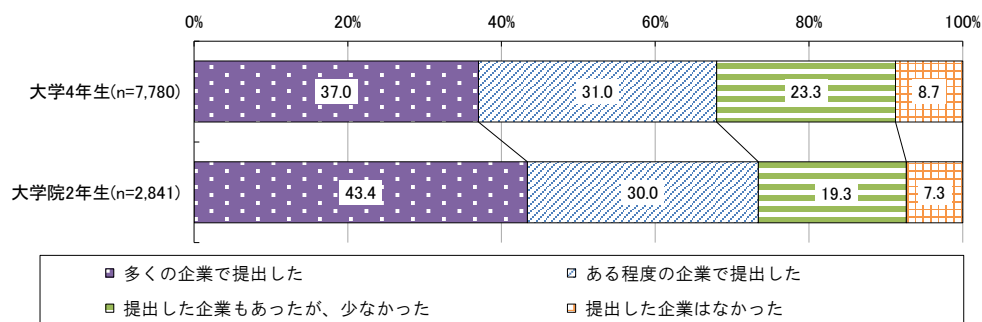


## (2) 学業重視の選考

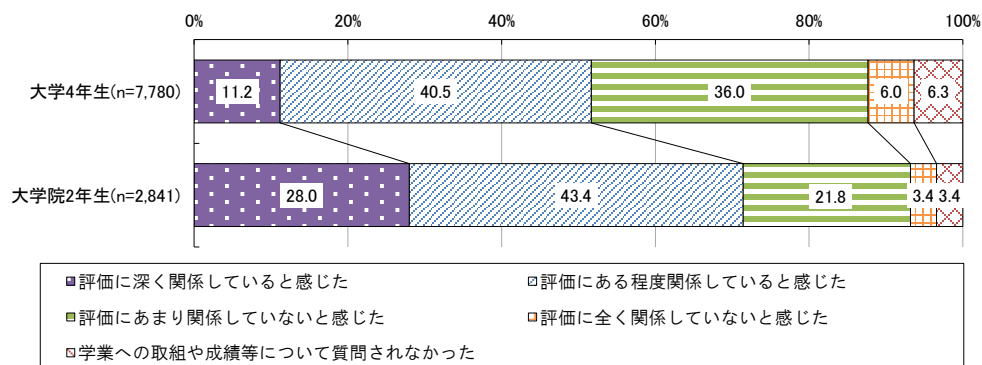
就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度あったかをたずねたところ、「多くの企業で提出した」の回答割合は、大学4年生・大学院2年生ともに約4割、「ある程度の企業で提出した」の回答割合とあわせると、約7割となっている。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについてたずねたところ、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合について、大学4年生では約5割、大学院2年生では約7割となっている。昨年度調査と今年度調査とは、大きな違いは見られない。

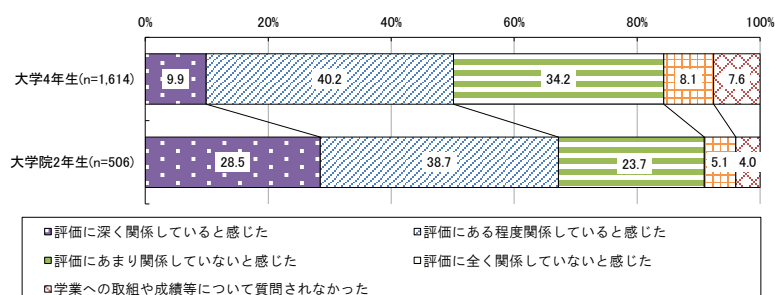
図表 4-2-1 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況



図表 4-2-2 採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか



図表 4-2-3 【参考・昨年度調査】 採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか



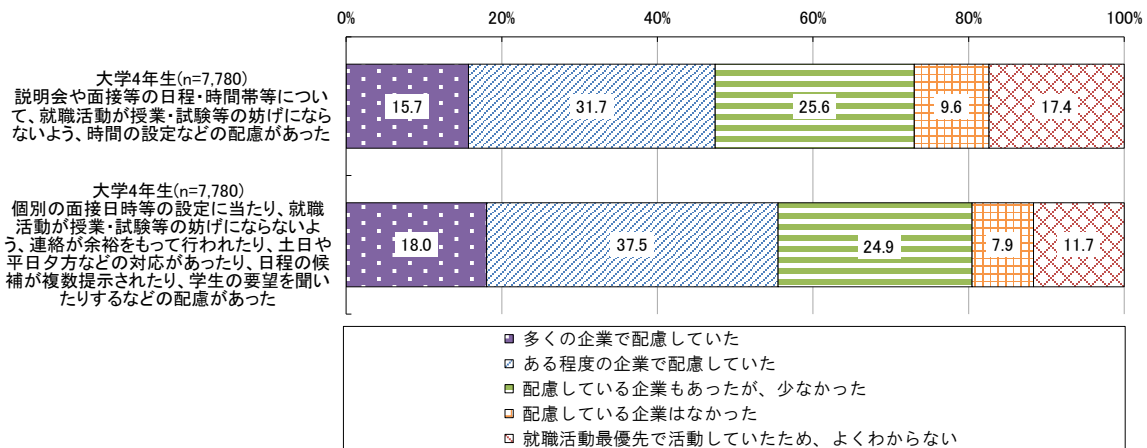
### (3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

就職活動を行った企業において、学生の学業などに対する配慮がされていたかについてたずねた。

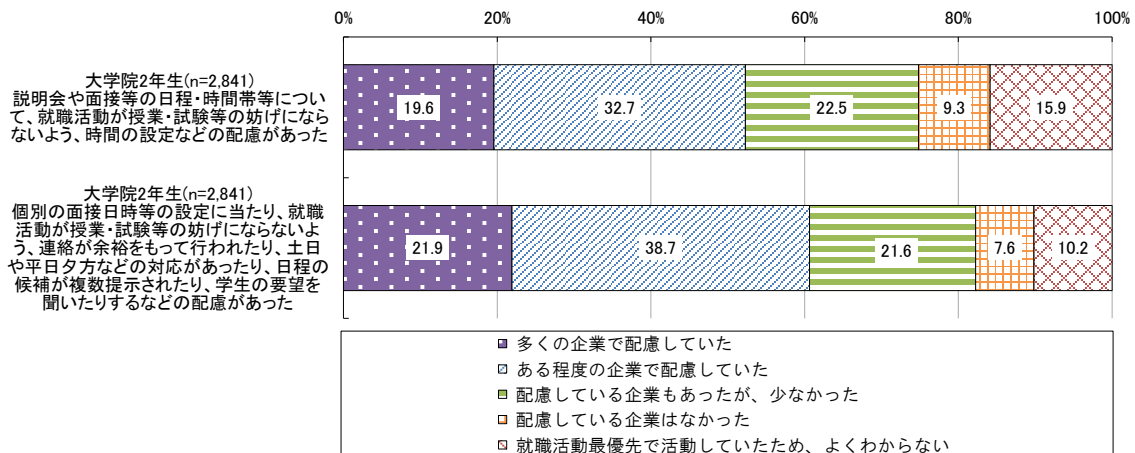
「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮があったか」に関しては、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した学生を除くと「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合について、大学4年生では6割弱、大学院2年生では6割強となっている。

「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮があったか」については、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した学生を除くと「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合について、大学4年生では6割強、大学院2年生では7割近くとなっている。

図表 4-3-1 就職活動を行った企業における時間や日程等に関する配慮の状況（大学4年生）



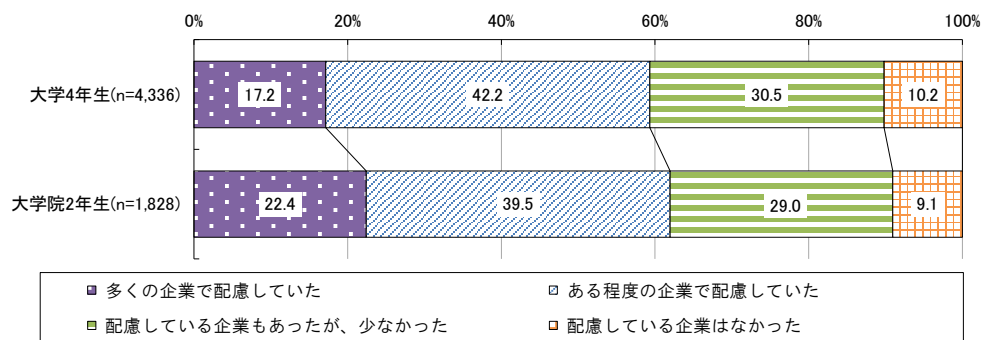
図表 4-3-2 就職活動を行った企業における時間や日程等に関する配慮の状況（大学院2年生）



#### (4) 遠隔地への就職活動への配慮

地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについてみると、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は、大学4年生・大学院2年生ともに約6割となっている<sup>31</sup>。

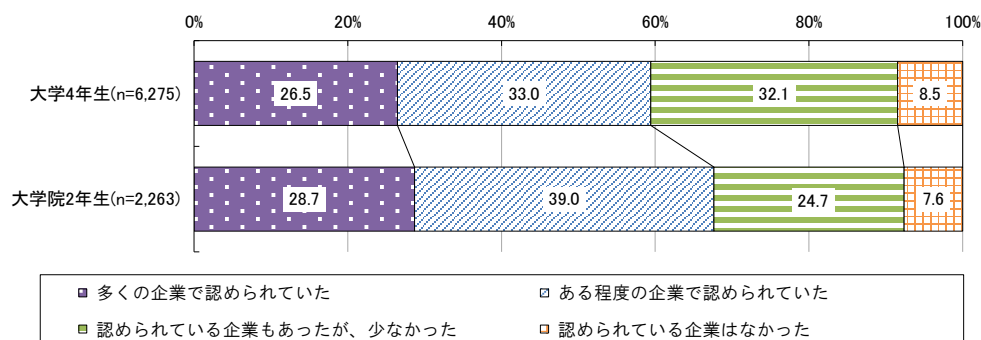
図表 4-4-1 遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況



#### (5) クールビズでの対応

面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについてみると、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は、大学4年生では約6割、大学院2年生では約7割となっている<sup>32</sup>。

図表 4-5-1 面接の実施におけるクールビズでの対応の状況



<sup>31</sup> 「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は集計の対象外とした。

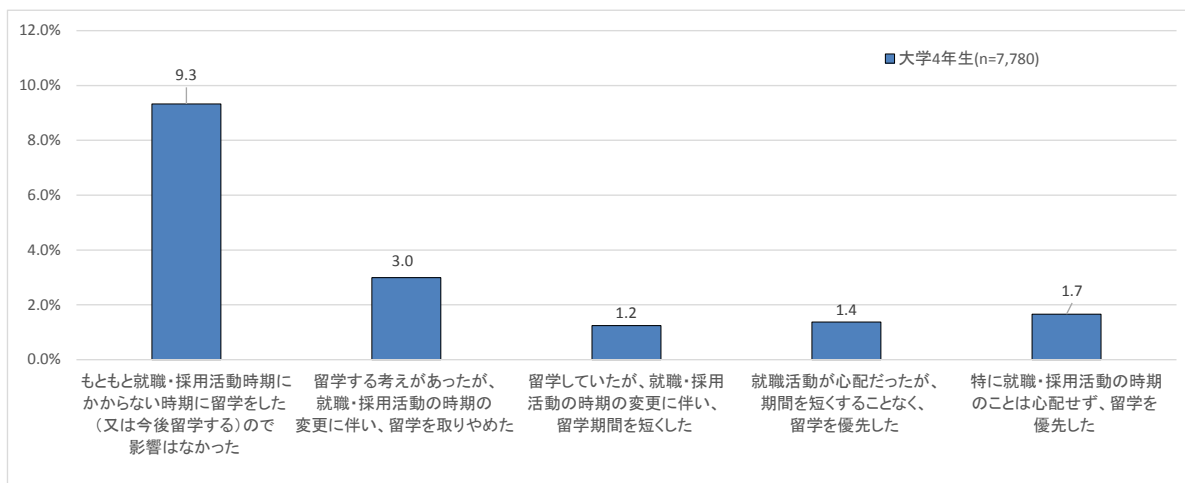
<sup>32</sup> 「暑い時期に就職活動を行っていない」「わからない」と回答した者は集計の対象外とした。

## (6) 留学経験者への配慮

### ① 留学経験者（検討していた者）の状況

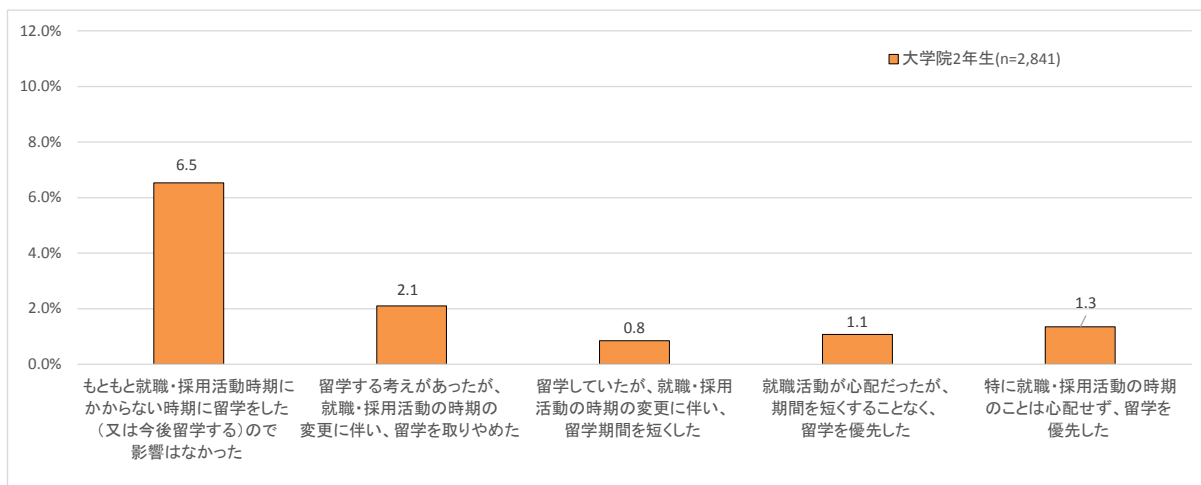
就職活動時期の変更により、留学の予定等に影響があったかについてみると、大学4年生全体のうち9.3%が、大学院2年生では全体の6.5%が「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした（又は今後留学する）ので影響がなかった」と回答している。また、大学4年生全体の3.0%、大学院2年生全体の2.1%が「留学する考えがあったが、就職・採用活動の時期の変更に伴い、留学を取りやめた」と回答している。

図表 4-6-1 留学経験者（検討していた者）の状況（大学4年生）



※全体の83.4%は「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答

図表 4-6-2 留学経験者（検討していた者）の状況（大学院2年生）



※全体の88.1%は「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答

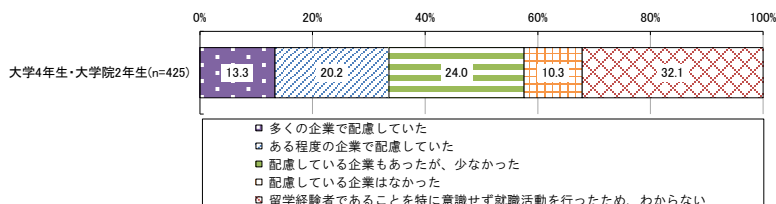
## ②企業側から留学経験者に対する配慮の状況

就職・採用活動期間中に留学を実際にしていた者<sup>33</sup>に関して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないような配慮があったかについてたずねたところ、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」の回答割合が最も高いが、それを除くと、「多くの企業が配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」の回答割合が合わせて約5割となっている<sup>34</sup>。

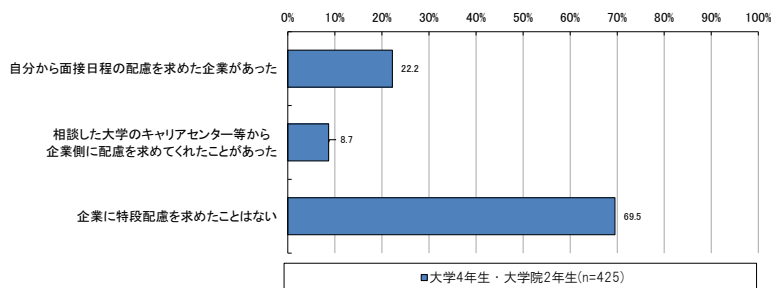
また、留学と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったかをたずねたところ、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約2割、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」との回答が約1割であった。

自分から、あるいは大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合の企業側の対応状況についてたずねたところ、自分から配慮を求めた場合、「配慮を求めた企業のほぼすべてが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答割合が合わせて5割以上となっている。大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合は、「配慮を求めた企業のほぼすべてが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答割合が合わせて4割弱となっている

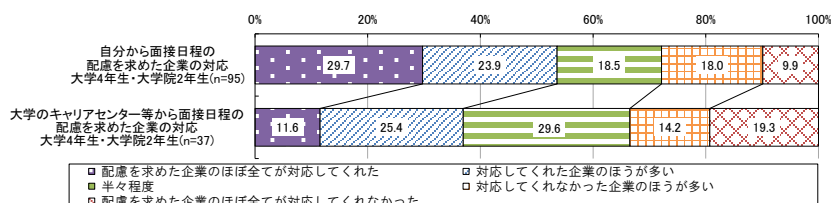
図表 4-6-3 企業側から留学経験者に対する配慮の状況



図表 4-6-4 留学経験者、就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか (複数回答)



図表 4-6-5 留学経験者、配慮を求めた場合の企業の対応



<sup>33</sup> 「留学していたが、就職・採用活動の時期の変更に伴い、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した (以下同様)。

<sup>34</sup> 留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した。なお、合わせて集計するにあたり、集計対象に占める大学4年生及び大学院2年生の分布が、必ずしも母集団の分布に沿ったものとなっているわけではない可能性がある点には留意が必要である。

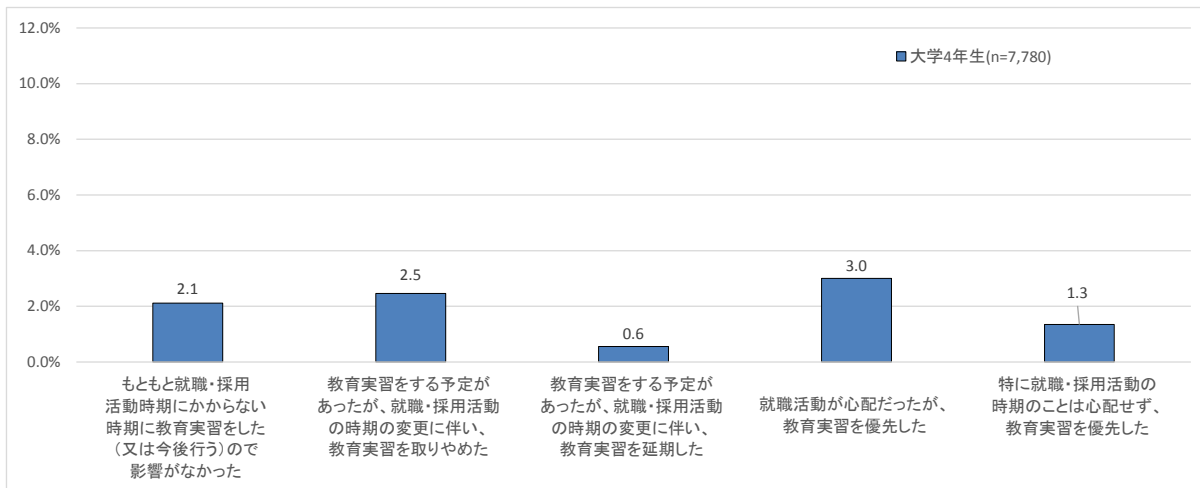
## (7) 教育実習受講者への配慮

### ①教育実習受講者（検討していた者）の状況

就職活動時期の変更により、教育実習の予定等に影響があったかについてみると、大学4年生では全体の3.0%が「教育実習が心配だったが、教育実習を優先した」と回答し、全体の2.5%が「教育実習をする予定があったが、就職・採用活動の時期の変更に伴い、教育実習を取りやめた」と回答している。

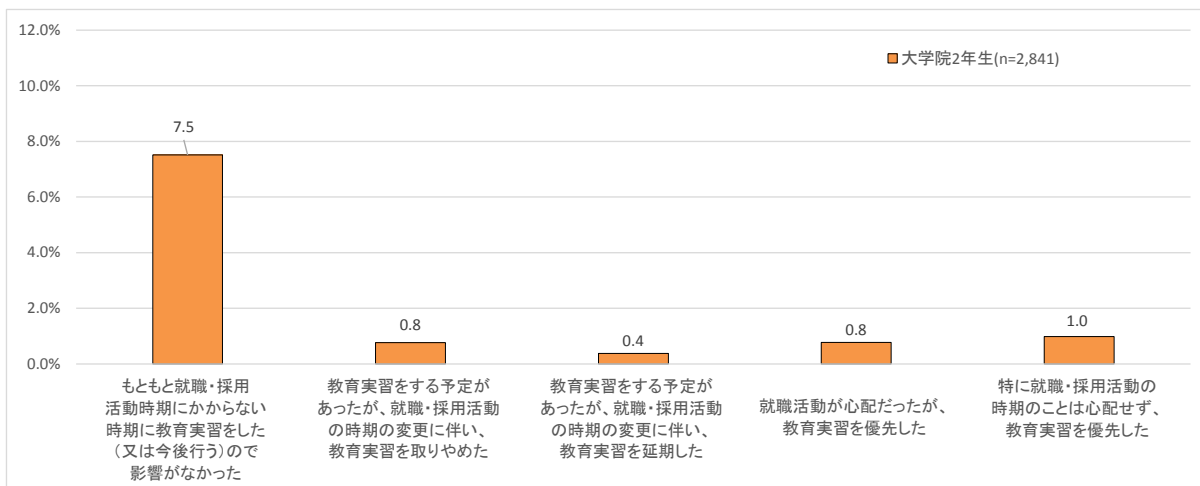
大学院2年生では、全体の7.5%が「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に教育実習をした（又は今後行う）ので影響がなかった」と回答し、全体の1.0%が「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答している。

図表 4-7-1 教育実習受講者（検討していた者）の状況（大学4年生）



※全体の90.5%は「もともと教育実習を考えておらず、教育実習を受講していない」と回答

図表 4-7-2 教育実習受講者（検討していた者）の状況（大学院2年生）



※全体の89.6%は「もともと教育実習を考えておらず、教育実習を受講していない」と回答

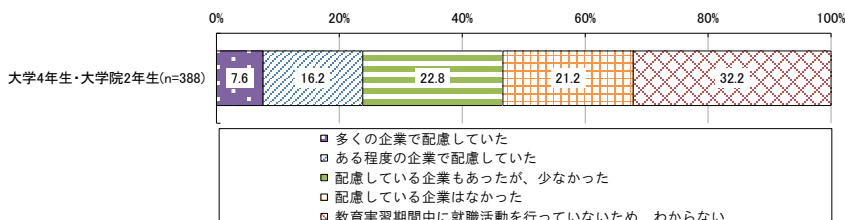
## ②企業側から教育実習受講者への配慮の状況

教育実習を実際に受講していた者<sup>35</sup>に関して、就職を希望した企業において、就職活動が教育実習の妨げにならないよう、説明会や面接等の日程・時間帯等に配慮があったかをたずねたところ、「教育実習期間中に就職活動を行っていないため、わからない」の回答割合が最も高いが、それを除くと、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」の回答割合が合わせて約35%となっている<sup>36</sup>。

また、教育実習と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったかをたずねたところ、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が5割弱となっている。

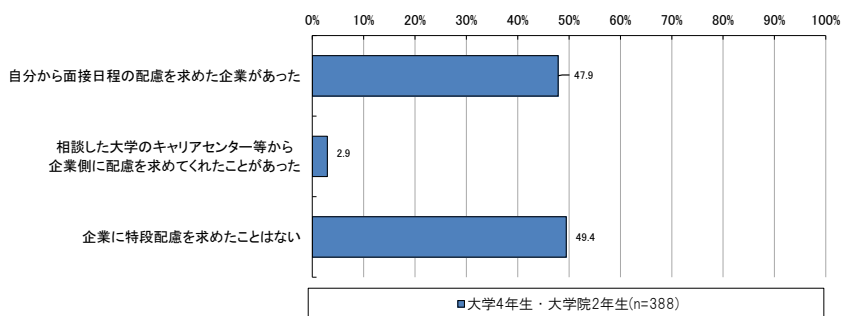
自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況についてたずねたところ<sup>37</sup>、「配慮を求めた企業のほぼすべてが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答割合は合わせて約4割となっている。

図表 4-7-3 企業側から教育実習受講者に対する配慮の状況

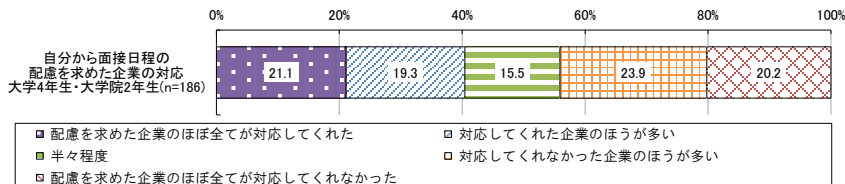


図表 4-7-4 留学経験者、就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか

(複数回答)



図表 4-7-5 教育実習受講者、配慮を求めた場合の企業の対応



<sup>35</sup> 「就職活動が心配だったが、教育実習を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、教育実習を優先した」と回答した者について集計した（以下同様）。

<sup>36</sup> 教育実習受講者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した。なお、合わせて集計するにあたり、集計対象に占める大学4年生及び大学院2年生の分布が、必ずしも母集団の分布に沿ったものとなっているわけではない可能性がある点には留意が必要である。

<sup>37</sup> 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の度数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。



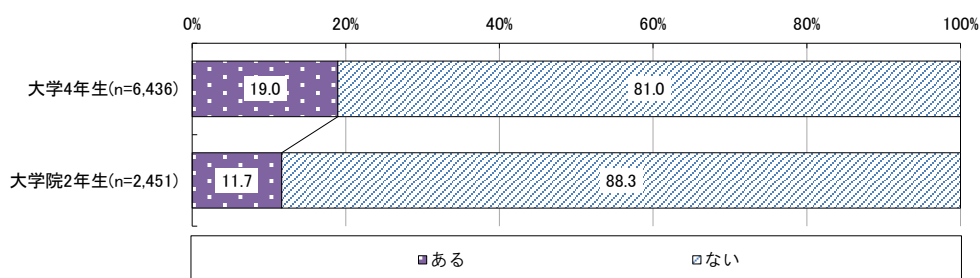
## (8) ハラスメント的な行為の状況

### ①ハラスメント的な行為の有無

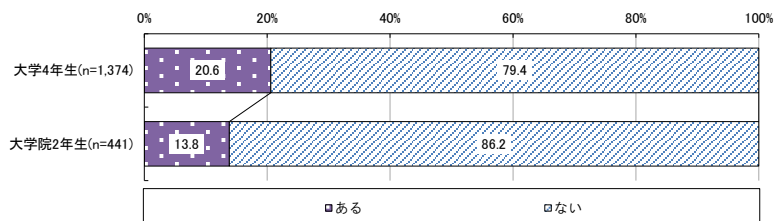
企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為を受けたことがあるかについてたずねたところ<sup>38</sup>、大学4年生では約2割、大学院2年生では約1割の者が「ある」と回答している。

なお、昨年度調査と比較すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「ある」と回答した者の割合は若干低くなっている。

図表 4-8-1 企業からハラスメント的な行為を受けた経験の有無



図表 4-8-2 【参考・昨年度調査】企業からハラスメント的な行為を受けた経験の有無

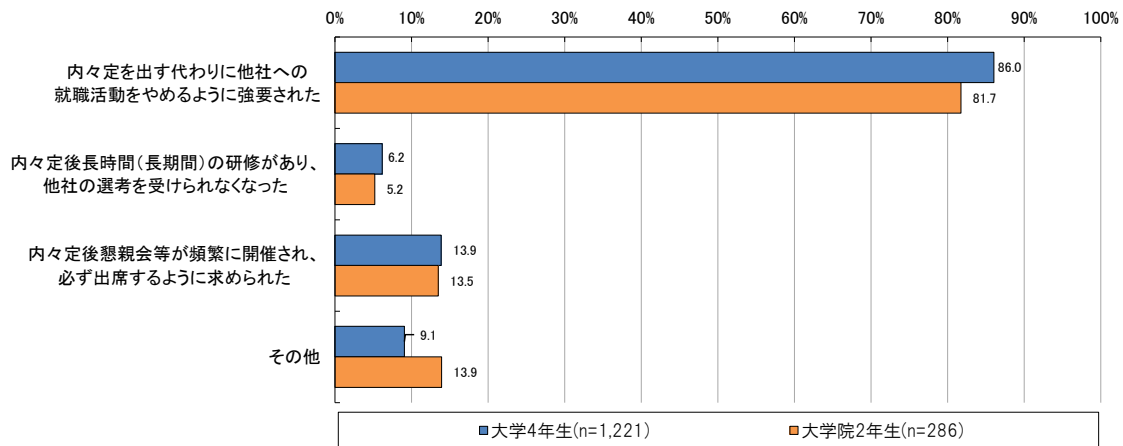


<sup>38</sup> 平成28年8月1日時点で内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。なお、昨年度調査では平成27年10月1日時点で内々定を1社以上から受けた者を集計の対象としている。

## ②ハラスメント的な行為の内容

企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為を受けたかについて「ある」と回答した場合に、どのようなハラスメント的な行為を受けたかについてたずねたところ、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」の回答割合が大学4年生・大学院2年生ともに8割以上となっている。

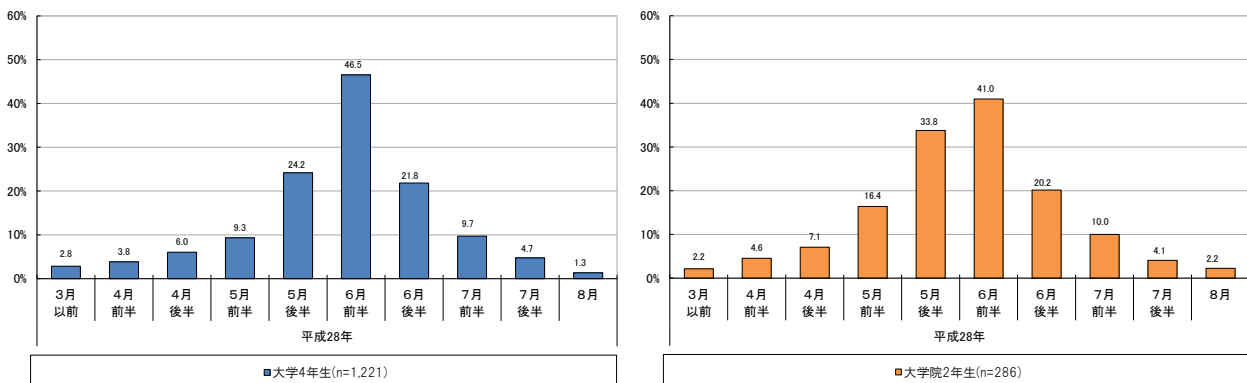
図表 4-8-3 企業から受けたハラスメント的な行為の内容（複数回答）



## ③ハラスメント的な行為があった時期

ハラスメント的な行為を受けた時期としては、大学4年生・大学院2年生ともに、「平成28年6月前半」の回答割合が4割以上と最も高くなっている。なお、大学院2年生では、「平成28年5月後半」の回答割合が3割以上と、大学4年生に比べて高くなっている。

図表 4-8-4 企業からハラスメント的な行為を受けた時期（複数回答）



#### ④ハラスメント的な行為への対応

ハラスメント的な行為を受けた経験がある者について、その際の対応をみると、大学4年生・大学院2年生ともに、「誰にも相談しなかった」の回答割合が5割以上と最も高く、次いで「両親・親戚に相談した」「まわりの友達に相談した」「大学のキャリアセンターに相談した」の回答割合が高くなっている。

図表 4-8-5 企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応（複数回答）

